

## 折居彪二郎資料「台湾採集日誌 (1932)」

説田 健一・齊藤 郁子\*・鷺田 善幸\*\*

“The diary about animal collecting in Taiwan (1932)”  
by the professional hunter, Hyojiro Orii

Ken-ichi SETSUDA, Ikuko SAITO, Yoshiyuki WASHIDA

## 1. 折居彪二郎資料「台湾採集日誌 (1932)」の概要

折居彪二郎 (1883-1970) は、明治のおわりから昭和のはじめにかけて、主に山階芳麿や黒田長禮といった鳥類や哺乳類の研究者の依頼で、千島、樺太、朝鮮、満州、琉球列島、台湾、ミクロネシアなどで鳥獣の採集を行った人物である。

苫小牧市立中央図書館には、折居がこれらの調査で記録した日誌や標本の計測ノートなどの資料が多数保管されている (苫小牧市立中央図書館, 1998, 1999)。このうち、「琉球及び大隈列島採集日誌 (1921)」(齊藤・髙原, 2003)、「千島採集日誌 (1928)」(揚妻, 2005)、「琉球採集日誌 (1936)」(齊藤・髙原, 2004) が活字化されており、本稿は、苫小牧市立中央図書館の資料番号「1040270181」である「台湾採集日誌(1932)」を活字化したものである。

この日誌は、1932年から1933年にかけて、鳥類研究者・山階芳麿の依頼で台湾を調査したときのもので、20.5cm×16.5cmの大学ノートに縦書きで記されている。また、台湾各地から依頼主へ送付した小包の内容が同じノートの最終頁から逆向きに記録されている。

調査の日程は、1932年4月27日に苫小牧を出発し、5月8日に基隆に入港、5月19日から翌年の5月31日まで恒春、里壟、紅頭嶼 (現在の蘭嶼)、火烧島 (現在の緑島)、南湖大山、大平山、水裡坑 (現在の水里郷)、台南、澎湖島、淡水、阿里山、新高山、大武山で鳥獣を採集し、6月3日に基隆を出航、7日に東京に帰着している。日誌には、台湾における鳥類や哺乳類の生態のほかに、現地の役人との摩擦、依頼主との意見の相違、里壟で風土病に冒され病床に臥した様子も淡々と記されている。

依頼主の山階は、折居から2000以上の剥製標本と多数の卵を入手し、新亜種を4種発表した (山階, 1937)。これらの標本の多くは、財団法人山階鳥類研究所に保管されているが、一部は岐阜県博物館にも保管されている (説田・時田, 2001; 説田・齊藤, 2003)。

## 2. 凡例

- 活字化にさいしては、次のようにした。
- ・旧漢字は原則として常用漢字に改めた。
- ・判読不能の文字は「□」とした。また、『大漢和辞典』(諸橋轍次著 大修館書店 1974年) に無い文字は「■」とした。
- ・誤りと思われる文字もそのまま起こし、「ママ」とルビを付した。補足が必要な部分は[ ]内に推測される文字を示した。また、文意が通るように補足した部分も[ ]内に示した。
- ・原資料の欄外にある書き込みは{ }で括り示した。
- ・原資料で見せ消ちになっている部分は、文字が判読できるものは二重線を引いて示し、文字が判読できないものは「●」で示した。
- ・疊字である縦長の「く」は、該当する文字を起こした。
- ・明らかに空白としている部分はそのまま空白とした。
- ・句読点を適宜補った。なお、原資料では読点「、」としている部分でも句点「。」とした方が適当であるものに関しては訂正している。
- ・記載されている鳥名は、現在使われている和名と異なる場合もあるが、原則として原資料に忠実に文字を起こした。
- ・原資料は縦書きだが、本稿では横書きにした。
- ・本文中で、二段組で記された観察鳥名リストは、一段に改めた。
- ・原資料では採集した鳥の名前などに「(カギカッコ)」を長くしたような記号が付されているが、通常のカギカッコと区別するため便宜上「\*」に置き換えた
- ・原資料の末尾から始まる送付小包の覚書は、日付順に逆向きに直し、本稿の末尾に付録として載せた。
- ・一部に差別的と思われる表現も見られるが、原資料の学術的価値を考慮しそのまま翻刻した。

## 3. 原文

台北市京町 (綿や) 秋本雄一

台北洲<sup>ママ</sup>[州]知事中瀬口夫

台北南警察署勤務巡查部長 三谷春蔵

山階家ノ助手

東京市外世田ヶ谷池尻二一四 山田信夫

台北南署高等特務 城戸愷儀

台北市本町二丁目五十六番地 水野浅治郎

高雄市新濱町一丁目五番地 大田垣清次郎

●高雄洲<sup>ママ</sup>[州]知事 野口敏治

高雄洲<sup>ママ</sup>[州]警務課 水野 氏 願書の係

台北市本町二丁目三十五番地 鉄砲店 三生堂 藤原勝

雄

高雄洲<sup>ママ</sup>[州]恒春郡恒春街二五七 盛七郎 旅館日ノ出館

高雄市

台南市白銀町五丁目

台中洲<sup>ママ</sup>[州]新高郡集々庄水利<sup>ママ</sup>[裡]坑駅前 小谷ヌイ

台北洲<sup>ママ</sup>[州]淡水郡淡水街龍目井山口屋粟井ハツ

台北洲<sup>ママ</sup>[州]羅東郡羅東街 伊藤セン

台北洲<sup>ママ</sup>[州]羅東郡太平山倶楽部永田

台南洲<sup>ママ</sup>[州]嘉義郡阿里山沼年 野口林太郎 ホテル

高雄洲<sup>ママ</sup>[州]潮洲郡潮洲庄五四三 西岡ツネ (冷涼館)

(1頁空白)

台湾採集ニ就テ

昭和七年四月廿七日郷里北海道勇払郡苫小牧町大字植苗村を出発ス。

四月廿九日早朝

東京市本郷区帝大前大野や旅館ニ投宿ス。同館才出発セシハ五月三日[午]前九時過ぎ。

神戸市北長狭町一丁目大野や支店ニ宿泊ス。

五月五日正午

汽船大和丸一六、〇〇〇屯ニ乗シ出発ス。門司ハ六日午後一時半ナリ。

五月八日午後二時半

基隆港ニ着ス。荷物多クシテ閉口セリ。同停車場四時二十九分発ニ乗シテ四十分余ニシテ台北ニ着。一丸旅館ト云フニ投宿ス。

五月九日

総督府ニ出頭シテ警務課長ニ会ヘシモ要領を得ズ。直ニ保安係ノ伊藤増雄氏ニ話シタルニ同氏より口書才得テ台北洲<sup>ママ</sup>[州]庁ニ至リシニ折悪シク同<sup>ママ</sup>[庁]ノ保安課長ハ留守ニテ要領才得ス。教ヘラル、儘ニ台北市南警察署ニ出

頭セシニ書類ノ上ニ不備ノ点在ル由ニテ様式才替ヘテ差

{最高 八十四度}

出ス事ニシテ此日ハ了ル。

五月十日

南署ニ出頭セシニ係リノ三谷部長ハ直ニ洲<sup>ママ</sup>庁<sup>ママ</sup>[州庁]ノ保安部へ同道シ[て]呉テ次席ノ 氏ニ会テ亦々書式才書直シ午後南署ニテ受附ケ呉テ直ニ洲<sup>ママ</sup>庁<sup>ママ</sup>[州庁]ノ保安課へ持参ス。明日当リ書類漸ク出来ルカト思ハル。昨夜山階家へ宛テ報告セシモ今夜亦更ニ火薬買取り許下<sup>ママ</sup>[可]証才得る由才報知セリ。

五月十二[一]日

一午後四時過電話ニテ免状出来ノ由通知才受けタルモ出頭セシ時、掛<sup>ママ</sup>[係]リノ三谷氏時間<sup>ママ</sup>経<sup>ママ</sup>[経]過後故トテ洲<sup>ママ</sup>庁<sup>ママ</sup>[州庁]ニ返納セシ由。

[五月]十式日

[午]前九時過キ洲<sup>ママ</sup>庁<sup>ママ</sup>[州庁]ニ出頭シテ下附才受けタルモ火薬携帯許可証才要スル趣キニテ更ニ三生堂 氏ニ依頼シテ記カシメ直ニ提出セルモ予ノ出発迄ニ八間ニ会はず。故ニ後より送附才受けル事トセリ。午前十時五十二分台北出発、午後九時五三十二分高雄ニ着セリ。

台北高雄間ノ鳥類 朝青天八十一度

昭和七年五月十二日晴天ナリ

{高雄駅前春田屋旅館}

車窓ヨリ目撃セル者ナリ

小サギ 多

アマサギ 甚多

カサハギ 台中以南

タカサコモズ 多一体ニ

タイワンスバメ 多シ

カイツムリ 七八回水面ニテ

バンケン 時々南方ニ

ヒメトビ ヤ、多シ

(ここまで一段目)

指ノバフ色ノ者

中サキ唐白サキ? 多シ

バン 時々見タリ

白セキレ 南方ニテ時々

ムクドリ 少キモ時々

セッカ 南部方面ニ多ク見ラル

嘴太

タイワンカラス？ 一回

タカ？ 二三回

黒ヒヨドリ 少シ

（ここまで二段目）

五月十三日

洲[州]庁ニ出頭シ訳オ話して種々依頼セルモ高雄洲[州]警務部の保安課長 八個人トシテノ許可ハ六ヶ敷由申居ラル。已ム無く兎ニ角警察署オ通シテ出願セント思ヘ署ニ至リ直ニ手續オ<sup>マ</sup>経<sup>マ</sup>テ（此際ハ丁寧ニ扱オ受け●明日ハ半休故ト考テ直ニ取扱ヘ呉レシハ植民地官吏ニシテ甚深<sup>マ</sup>親<sup>マ</sup>切ト云フ可シ。午後一時半洲[州]保安課ニ至リ水野 氏ニ願書提出セルニ丁度台北洲[州]庁ヨリ書一式送附シ来リ在リテ余モ自分所持ノ許可書オ提示シテ今後許可サル可キ様式オ分明シ易キ様ニセリ。果シテ今日中ニ出来スルヤ否ヤ

五月十四日

{高雄<sup>マ</sup>庁<sup>マ</sup>}ノ警務部長ハ佐々木}

本日終日待居リシモ警察署ヨリ何等通知ニ接セズ。多[分?]知事及警務部長（平塚）長官巡視ノ出迎其他ニ出張セシ為認可ノ印オ捺ス能ハザリシナラン。

五月十五日

本日当地の高処（獨立山）壽山ニ登リシニ無数ノ猿オ見ル。同区域ハ禁猟地ニ指定サレ在ルオ以テ無数ニ繁殖セル者オノ如シ。左記ノ鳥オ見タリ。且つ目今皆営巢し始メ居タリ。

白頭 営巢初期卵無し

台湾雀 同上

目白 同上

姫トビ 多シ

セッカ？ 少数

テッカー？ 二三回地上ニ鳴キシオ聞ケリ

（ここまで一段目）

シマモス 少キモ一ニ羽オ見タリ

?オホヨシキリ 鳴声オ異ニス

（ここまで二段目）

五月拾六日

本日月曜ナル故多分呼出在ランカト待居リシニ何等午前中ハ申シ来ラズ。台湾ハ夙テ高貴ノ身分ノ人々ニ対シ何等引慮シ居ル事モ無ク唯彼等ノ上官ニノミ平身低頭シ居ル様ナリ。

五月十七日

本日警察ニ出頭シテ再捉シタルニ洲<sup>マ</sup>庁<sup>マ</sup>[州庁]ニテハ本日{恒春市街二七 盛七郎（日ノ出館方）}

午後三時頃来レトノコトニテ余ハ正三時ニ出頭セシニ係リノ人水野氏ハ留守ニテ他ノ人ノ話シニハ既ニ署ニ向ケ発送セルトカ。然シ一応文書課ニ行キ見ント云ヘ漸時して持チ来リ余ニ手交セラル。一応高雄署ニ提出シテ後余ニ渡●サレタルハ既ニ五時近クナリシ。此日も出発ハ出来ズ。

五月十八日

[午]前九十[時]二十八分洲<sup>マ</sup>庁<sup>マ</sup>[州]行ニ乗ズ。高雄ノ免状オ下附受ル迄ハ八十円以上オ要セリ。一時恒春着。

[午]前九時ヨリ午後一時迄

高雄恒春間ノ鳥（五月十八日）

シロガシラ 多シ

セツカ 少シ

アマサキ ヤ、多シ

中サキ 多シ

カワセミ 少シ

タカサコモズ 多シ

オウチウ 多シ

クロガシラ 南方ニテ少シ

ホエビー 一二羽

白セキレ

台湾白セキレ 時々見ラル

（ここまで一段目）

クエナ 一羽

ジユズカケ鳩 多シ

カノコバト 多シ

カサ、キ 少シ

ヒメトビ 多シ

磯シキ 一二羽

目大チトリ 一二回

キンバラ（ 南方ニテ

大腰赤燕 ヤ、多く人家ニ営巢

小サギ 多シ

（ここまで二段目）

恒春附近ノ鳥類実見表、\* " 採集シタル者昭和七年五月十九日ヨリ採集ニ出ス六月八日迄

\*ジユズ掛鳩 一多

\*鹿ノ子鳩 多

\*雉子鳩 多  
 \*黒頭 多  
 \*台湾嘴太カラス 割合少  
 \*タカサゴモス 多シ  
 \*台湾尾長トリ 多シ  
 \*蕃鶇 多少シ  
 クエナ 一回  
 \*琉球ヨシゴエ  
 \*テツケー 山ニ多シ  
 \*頬白セキレ × 多シ  
 \*黒ヒヨドリ 少シ  
 \*雀 (台湾) 多シ  
 \*雲雀 (台湾小) 多少シ  
 ワシ 十九日 三回  
 \*姫トビ ヤ、多シ  
 ヤブドサ 少シ  
 \*黒襟ルリ 希  
 サンシヨ喰 希  
 \*河セミ 少  
 \*ホエビー ヤ、多  
 \*目白チメトリ 希  
 紫サギ 少シ  
 (ここまで一段目)

\*●●●●●● 多シ

\*雉子鳩 ~~ヤ、~~多シ

\*小アジサシ 五月廿一日 少キモ時々  
 \*カルガモ // 当地方八羽才見ル 育雛ス  
 \*台湾ンセツカ 多シ  
 \*キン鳩 一羽 少シ  
 \*小無地セツカ 希  
 \*シマキンバラ ヤ、多シ  
 \*カエツブリ 少シ  
 \*アマサギ 多シ  
 中サギ 多シ  
 \*白服<sup>ママ</sup>[腹]クエナ 一羽  
 \*琉球燕 少シ  
 \*小蟲喰 五月廿二日 少  
 ●● // 希  
 \*磯シギ // 目下 希  
 \*黄セキレ // 目下 希  
 \*小千鳥 ×  
 \*ミフウツラ  
 大冠鷺  
 \*玉シキ 五月廿三日 少シ

\*琉球モズ 少シ 希少  
 \*五色鳥 高山ニ多シ  
 \*台湾大タカ 少シ  
 (ここまで二段目)  
 \*姫ミフウツラ 少シ  
 \*バン 少  
 \*ツルクエナ 希乍ら居レリ  
 大サギ (白サキ) 少シ  
 腰白キンバラ 唯一羽才見タリ  
 \*ウツラシキ 少シ  
 \*アメリカウツラシギ (六月二日) 少  
 青サギ 一羽  
 \*青足シギ 一羽  
 大セツカ 五月卅一日 二羽才見ル  
 \*小サキ 多シ  
 \*赤頭サキ 六月三日 希  
 \*頭赤チメドリ 六月五日 少シ  
 \*襟黒アジサシ 少シ

#### 恒春地方ノ山形

鞍部ハ遠ク絡脈才為セトモ処々佳ナリ急ノ斜面オナシテ  
 且ツ小ニ〔柴〕甚シク繁リテ通行困難ナリ。希ニ道路才通  
 セル者在ルモ一定ノ方向ニ向ヘ居ラズシテ勝手ニ四方ニ  
 走り居リテ是才利用スルハ佳ナリ精通スル才要ス。東方  
 老佛山 式千三百余尺

五月廿一日 日中九十五六度 夜明頃八十一度  
 西南方ノ龍泉水湖ニ行キシニ種々ナル鳥才見タリ。海岸  
 方面ニハ金鳩才見ル由ナリ。

五月廿二日 自動車 150  
 南方大板 二行キ其ヨリ海岸才北西ニ廻<sup>ママ</sup>[回]ル。一方  
 変リシ鳥才見ズ。

五月廿三日  
 東方ノ射麻里ノ先方ニ行ク。雨降ニテ閉口セリ。本日山  
 シヨピンノ音才聞キ、玉シギ才得及小千鳥等才見。蕃鶇  
 ハ甚多カリシ。

五月廿四日  
 射麻里ノ北西高地老佛山ノ裏ノ林中ニ行ク。鷺及台湾大  
 タカ及五色鳥及高麗ウグエス等才見タリ。670m米突  
 [メートル]在リ。

五月廿七日

西方龍泉水ノ池（水清）処ニテ白服<sup>ママ</sup>〔腹〕クエナオ得テ西方ノ長形ノ沼ニ行キ腰辺迄水ニ入りテ人夫オシテ追ハシメ六羽ノ台湾カイヅムリオ得タリ。此日余ノ彈藥ハ余リニ垂<sup>ママ</sup>〔悪〕ク古クシテ負傷セシメシノミナルニハ閉口セリ。

五月廿八日 懇丁行 ●日中暗所八十五度

懇丁種蕃<sup>ママ</sup>〔播〕場ノ後方ノ尖リ山ノ横オ通りテ高台一体ニ採集オ試ミタルモ新シキ鳥オ見ズシテ戻ル。

五月廿九日

廟ノ在ル高台ニ至リ歸路ヒンセツトオ失フ。本日台湾キン鳩オ始〔初〕メテ鳴声オ聞キ是オ得タリ。八重山産よりハ鳴声少シク異レリ。

五月卅一日

本日西方沼ノ端オ週リテ歸ル。先日ツルクエナオ見タルモ得サリシニ本日はオ得タリ。本日東方ノ山林中ニキン鳩二三回鳴声オ聞キシモ遂ニ姿オ見ザリシ。其他此頃ニハ一般ノ現在鳥類ハ皆産卵期ニ入レルが如く。唯\*ヒバリハ既ニ佳ナリ大キクナリ居レル者多シ。

〔五月末現在産卵ノ鳥ニ就キ〕

漸ク一巢五ヶ在中ノ者オ得タリ。色彩甚しく内地産ト異レル者モ在リ。

- \* 黒ヒヨドリハ山地ノ涯等ノ密林ニ産卵ス。
- \* 琉球燕ハ少キモ橋梁等ノ下ニ巢オ造レリ。
- \* 鹿ノ子鳩ハ漸ク営巢期ニ入レル者ノ如シ。
- \* 尾長ハ目下巢オ終リテ大キクナレル者モ在リ。遅レタルハ猶未タ営巢中ノ者モ在ラシ。
- \* 丸嘴ハ目下営巢中ナリ。時々材料オ喰ヘタルオ見ル。
- \* ホエビーハ地上ニ営巢ス。四五ヶオ採集セリ。
- \* オーチウモ漸ク営巢期ニ入レル者●ノ如シ。
- \* 小無地セツカハ惜シクモ一巢二果ノ卵オ得タルノミ。目下盛ニ巢ニ就キ居ルガ如ク。其多クハ♂ノミ捕獲。
- \* 琉球ヨシゴエノ服<sup>ママ</sup>〔腹〕中ヨリ二三日中産卵ス可キ卵オ見タリ。
- \* 蕃鷓ハ目下産卵中ノ者ノ如シ。
- \* 高砂モズハ多キモ未タ営巢ニ至ラズ。
- \* 鷲類数種在ルモ何分広キ水辺ノ平地故接近シ難ク手ニ入り難シ。尤モ時間オ惜シマザレバ其通路オ要セズ。捕獲ハ易々タル者ナリ。

五月卅一日

先二本日ノ予定ナリシ定期船ハ大板岬出帆ハ二日ニ延期セル由申セシ故、余ハ二日ノ考ニテ荷物等オ其々仕度シ

テ、一日午後尚確實ニ知ラン者ト人才遣シタルニ午後〔六月二日〕

八時二十分前ニ本日入港ノ電報来リ、八時ニ大板岬へ着ノ筈ト無積<sup>ママ</sup>〔責〕任ニモ申シ居リ。一里半モ在る処トテ且又余ハ小包オ出ス仕度ノ為メ終日オ費セリ。今廿分位テハ到低<sup>ママ</sup>〔底〕荷物オ的メテ出発ハ不可能ナリ。故ニ●次便（八日）ニ已ム無く延セリ。

六月二日

本日沼ノ周囲オ廻ル。\*青サギー羽オ見且つ\*青足シキオ得タリ。\*アメリカウヅラシギハ希ニ見ラルハ様ナリ。本日ニ羽オ得タリ。\*鶴クエナハ此頃漸ク多ク見ラルハ様ニナリタリ。営巢ノ関係ナラン。其卵オ得タリ。

六月四日

猿打ニ行キ一頭オ得タリ

六月五日

本日北方四重溪ニ趣<sup>ママ</sup>〔赴〕ク。丁度石間ヨリ引返セリ。是より内方蕃地ハ許下<sup>ママ</sup>〔可〕オ要スレバナリ。本日猿多数断涯上ニ見ヘタリ。頭赤チメドリオ得タリ。

六月八日 降雨時々晴ル

本日出発ノ予定ナリシオ以テ七日ヨリ休ミテ荷送オ始ム。大板岬<sup>ママ</sup>〔板岬〕オ出船スルニ当リテ茲ノ艇ニ驚タリ。波浪甚しく荷物ハ大半ニ<sup>ママ</sup>〔濡〕レタリ。漸ク二本船宇佐丸ニ乗船一安心セリ。午後十時出帆、九日〔午〕前六時台東港ニ着セリ。茲ハ折良ク北風ナリシオ以テ浪高カラズ。艇ハ岸迄横附トナリ心配する程ノ事モ無カリシ。

六月九日

六時台東入港。台東街宝町一六九工藤強四郎と云ふニ宿ル。好天気ナリシ。〔午〕前九時半台東<sup>ママ</sup>〔庁〕ニ出頭願書提出ス。出来る丈速かニ許下<sup>ママ</sup>〔可〕スル由申居ラレシハ他ノ官庁ニ比シ甚しく民衆ノナリシ。茲ヨリ発車スル列車ハ一日三回ナリ。乗車賃ハ頗る高価なるニハ一驚セリ。

六月十日

〔午〕前七時発車ノ花連行ノ列車ニ乗り里瀧<sup>ママ</sup>〔壘〕迄出張シテ採集地を撰定セント車窓ヨリ間断無く方々オ視察ス。午後二時五十分發ニ乗シテ台東ニ歸レリ。此日州庁ヨリ免状出来セル由申来リシモ不在ノ為<sup>ママ</sup>〔翌〕十日出頭ス。〔台東<sup>ママ</sup>〔庁〕下台東街宝町一六九工藤強四郎〕

{ 豊津館}

{台東<sup>ママ</sup>里瀧<sup>ママ</sup>[壟] 下里瀧<sup>ママ</sup>[壟] 街廿一、 方}

{東旅館主人 吉松源十郎}

台東<sup>ママ</sup>里瀧<sup>ママ</sup>[壟]にてハ顔ル●親切ニ早速ニ書類才整理シテ曜  
[翌]日許可サレシハ他ノ<sup>ママ</sup>里瀧<sup>ママ</sup>[壟]ニ比シ頗る痛快ニ感セ  
リ。

六月十一日

[午]前十時五十分発の列車にて出発。二時間半才費シテ  
里瀧<sup>ママ</sup>[壟]ニ着ス。本線ハ軽便線の事とテ小荷物及箱物ノ  
取扱オナサズ閉口セルモ運送店ニ依頼シテ此の列車ニ積  
ミ込ム。賃銀モ頗る高価ナリ。旅館ハ東と云ふ。割合ニ  
安価ナリ。

六月十二日 \*燕千鳥ノ群翔

本日里瀧<sup>ママ</sup>[壟]東南方の台地ノ畑上オ飛翔スル者十数オ見  
其内六羽オ[打?]タルニ何レニカ去リテ見エズ。斬<sup>ママ</sup>[漸]  
時行キ河原の石礫地ニ至リシニ多数上空オ飛翔シ廻リ丁  
度雨燕の舞フガ如し。接近セシ者オ片端ヨリ打落セリ。  
実数<sup>ママ</sup>ハ此の附近百羽以上モ居るナラン?実数オ知ラズ。  
群衆<sup>ママ</sup>[集]シテ飛翔スル時ハ黄金蟲オ捕食シツ、在ルナル  
オ胃袋オ開キテ知レリ。

六月十四日

激流オ越テ東海岸山脈オ探検ス。余リ好望ナラズ。唯し、  
ムグラノ穴オ数個オ見タリ。

台東及里<sup>ママ</sup>[壟]地方実見鳥類

昭和七年六月十一日 至同年九月二日

\*台湾嘴太カラス 多シ

\*クロガシラ 少シ

\*蕃鶉 多シ

\*姫トビ

\*小アジサシ ヤ、多シ

目大チトリ 少シ

\*高砂モズ 多シ

●●目白(姫) 多シ

カラセツカ

\*ムチセツカ

\*白服<sup>ママ</sup>[腹]クエナ

ツバメ

\*雨燕

\*高麗ウグエス

\*台湾スバメ 多シ

\*鹿ノ子鳩 多シ

\*琉球ヨシ五位

\*姫丸嘴

\*小ヒバリ

\*ホ、ジロセキレ 多シ

六月十二日

サ、ゴエ

(ここまで一段目)

\*河セミ 少シ

\*燕千鳥 甚多シ

\*ミフウヅラ

\*シマキンバラ 多シ

\*シヤウドウツバメ 少キモ時々

\*クロヒヨドリ

十三日

\*テツケ

\*タマシギ

\*ツルクエナ

白頭烏鳩 ○ 一群廿羽程オ

眉ハウチワドリ

\*腰白キンバラ 少シ

\*台湾キンバラ 少

六月十四日

東海岸山脈

\*緋サンシヨ喰

\*山娘

\*金鳩 鳴声オ聞ケ

\*頭赤青鳩 六月十五日見ル

\*黒襟ヒタキ 8 ニ々

\*台湾尾長鳥 多シ

\*目白チメドリ

\*筒鳥

42

(ここまで二段目)

台東<sup>ママ</sup>里瀧<sup>ママ</sup>[壟]地方の鳥

\*大冠ワシ 少シ

\*小千鳥

台湾大タカ

六月十八日

\*ヒゴロモ

\*キクチメジロ

\*ヒメオウチウ

\*ハウチワドリ

ヅツボ<sup>ママ</sup>ソ<sup>ママ</sup> 鳴声オ聞ケ

\*丸ハシ 少シ

六月十九日

- \*カヤノボリ
  - \*ヤブコマ
  - \*八色鳥 六-八月 希ナリ
  - \*タケドリ
  - \*台湾ヨタカ 六月廿四日
  - \*レンカク
  - ムラサキサギ
  - 大バン
  - \*カルガモ 六-八月 大平 三羽オ見タリ
  - \*眉ハウチワドリ
  - \*台湾セツカ (♂白頭)
  - \*嘴長クエナ 七月四日 少
  - \*台湾ヒクエナ 七月四日 少
- (ここまで一段目)

台湾熊タカ

- \*台湾キジ 七月五日
- \*姫三ニ[斑]ウヅラ 七月
- \*大木ノ葉ヅク 七月
- \*紅鳩 "
- \*青チメドリ

紅鳩 小キモ東方ニ見ラル 池山方面

大ヨシゴエ 七月廿七八日一羽オ見

燕 七月●●八月中頃ヨリ渡来シ始タリ 八月下旬多シ

(ここまで二段目)

〔◎南湖大山ノ道ハ 恙蟲ニ注意  
鹿熊等多シ〕

- \*南澳カラ入ル者○\*三星より寒溪オ至[経]テ入ル者及
- \*大平山より台ラフを至[経]テ (八千尺)

ピヤハウ社 (蕃人) より南湖大山登山道路在リ。大森林  
白昼尚暗キ密林ナリト云フ。蘇澳郡役所ニ手續オ要ス。

六月十五日

本日後方ノ山ニ入りシモ一向鳥オ見ス。僕等ニ離レテ後  
東方ノ山服[腹]ノ密林中ニ頭赤青鳩ニ一射シタルモ得ザ  
リシ。尚又高麗ウグエスオ一羽見タルモ三十番故射程ニ  
入ラス。十二時宿ニ帰ル。

六月十六日

本日南方ニ行キ筒鳥四羽オ見タリ。蕃地ニ出テ帰ル。

六月十七日

南方一里半程ノ雷公火ニ至ル。山道無く上流ノ山娘オ打  
ツべく行キシモ出会セズ帰ル。

六月十八日

西方一里程ナル高地ニ行キシニ多数ノ鳥類オ見タリ。即  
別記十六日ノ記事参照。其他種々居リ。赤服[腹]ムサハ  
ビオ得タリ。

六月十九日

昨日来ノ高山ニ行キ確實ニ黒鳩ノ居ルオ知レリ。此ノ山  
ニハ尚多クノ種類オ発見シ得キオ思ハシム。充分ニ蕃  
地ノ探検オ行ヘ度キ者ナリ。本日ハ

\*ヤフサバエ (仮称) オ得タリ。サハエ類ニシテハ尾長  
ク山ヒバリ類ニシテハ小形ノ者ニテ sp. No. 6 7号ナリハ  
藪中ノ暗処ニノミ見ラル。

一[六]月廿一日

本日\*姫オウチウ及\*八色鳥オ得タリ。少シ。

一[六]月二十二日

本日八色鳥ニ二回出会一射シタルも負傷セシメシノミ。  
帰路台湾ヨタカオ得タリ。

六月廿五日

本日第三回ノ山階家より書面来ル。卵ニ就テ色々申越サ  
レ且つ恒春より送りし標本ニ就キ蛆ノ生セシ者ナリし由。  
本日北方ノ山ニ行キしニ一鳥オ得ず。

六月廿六日

本日八色鳥ノ成鳥オ得タリ。

六月廿八日

本日大ビ湖ニ行キカル鴨三羽オ見タリ。レンカクハ全部  
で六羽居リシ者四羽迄射獲サレ残存ニ羽ナレモ是トテ矢  
オ射掛ケラレ居ル故中々接近出来スシテ終列車ニテ帰  
[壘]セリ。

河野鉄蔵氏へ北海大[学]ノ納入標本代金領収方ノ委任  
状オ調印差立タリ。

委任状

拙者都合ニ依リ河野鉄蔵オ以テ代理人ト定シ左記権限●  
ノコトオ委状[任]ス。

一、朝鮮、北海道、千島、樺太、日本委任統治南洋諸島  
産鳥獸標本代金○百○拾○個ノ代金受領方ニ関スル一切  
ノ件。

一、●代理人ハ其都合ニヨリ復[副]代理人ヲ選任スルコ  
トヲ右委任状仍テ如件。

勇拂郡沼ノ端村字植苗

折居彪二郎

廿八日記ス

右ハ河野君へ差出ス（同夜）

六月卅日

河野君より手紙来ル。

{台北市本町三丁目一番地}

{中野庄之助氏息中野十郎氏}

七月二日

本日降雨故小包オ荷造ル。

七月三日 日曜

本日も降雨時々。山階家へ小包の案及自家ヘトラツプ到着の通知とヤールト川上ヘ手紙を出せリ。

七月四日

本日犬オ使用シテクエナ類オ獲し者ト出掛タルモ犬ハ充分訓練ニ非リシ故思フ様ニ獵獲出来ズ。六羽オ見タルモ遠クシテ三羽丈オ獲タリ。

七月五日

出獵ヨリ帰来セル。午後五時頃山階家ヨリ金五百也〔ノ〕替為到着せリ。

七月六日

先ニ照会セル紅頭嶼行汽船ノ件ニ就キ豊津館主工藤強四郎氏ヨリ返事在リ。七月十六日同台東港出帆シ同月廿三日紅頭嶼出帆廿四日ハ台東ヘ入港の由報告在リタリ。

七月六日

本日河岸草原地ニ趣〔赴〕キシニ姫三ニ〔斑〕ウヅラオ得タリ。即チ本種ハ蹠黄色ニテ後趾良ク発達セリ。

七月十日

本日姫ウヅラノ♂ニ羽オ得タリ。燕千鳥ハ此ノ附近ノ河原ノ廣キ処ニ育雛シ居る者ノ如ク、時々小蟲オ喰イテ其方ニ飛翔シ行くオ見ラル。時ニハ余ノ頭上近ク急角度ニ下降シ来ル事毎時ナリ。斯クノ如キ場合ハ其ノ産卵場ニ余ノ近ク歩キ居る事オ知レトモ中々ニ巢又ハ卵オ発見スルニ至ラズ。●石丸氏と家内ニ出状。

七月十一日

里ニ〔窟〕区長佐藤氏ノ案ニテクエナ等ノ巢堀〔窟〕トスル

処ニ行キシモ目近ノ事故一向見当ラズ。本日、カル鴨の漸く飛び得る程度ノ者三羽オ得タリ。♂♀の親鳥オ犬が先ニ行キテ逸シタルハ実ニ残ニ〔念〕至極ナリ。

本日青葉ウチワドリオ得タリ。

七月十二日

卑南溪オ渡シテ池上近クノ山麓ニ行キ大木ノ葉ヅク及紅鳩オ得タリ。思フニ少シク地形ノ変リシ処ニハ必ずや変リシ一二種播居シ居るハ奇なるカ偶然ニ非ルノ理在ル可ク。地形ト食物上ニ原因〔因〕スルラシシ。

{田中巡査 齊藤典治老}

七月十三日

里ニ〔窟〕発二時四十七分。此日朝来多忙を極ム。五時豊津館ニ宿ス。

七月十四日

朝九時支庁〔庁〕ニ入蕃許可申請書を。

七月十五日

紅頭嶼及火焼嶋ニ行く可ク食料其他ノ一式ノ準備オ整ヘタリ。

七月十六日正午

台東発ノ 丸ニ乗り込ミタリ。午後二時着ト同時ニ上陸シテ齊藤典治老オ訪問シタリ。

本日ノ実見鳥類左ノ通り

- 一、台湾頭赤青鳩
- 一、鹿ノ子鳩
- 一、シヤウドウ燕 琉球燕
- 一、キクチ目白（新）
- 一、台湾ヒヨドリ
- 一、雨燕

{紅頭嶼}

七月十七日

〔午〕前五時半着セルモ六時上陸ス。上陸ニ際シ激浪ノ為メ舁（テンマ）到〔倒〕立トナリ余ハ後頭部オ打チ及足部オ負傷シタリ。波浪荒キ為メニ荷物の揚陸ニ〔段〕取りテ思ハシカラス且つ大低〔抵〕ハニ〔濡〕シタリ。

紅頭嶼ノ実見鳥類

- 一、シヤウドウ燕 \*琉球燕
- 一、\*雨燕 \*バン 多し
- 一、\*蕃鶇
- 一、\*台湾頭赤青鳩 △

一、\*尾長鳩 △

一、\*セツカ

一、\*菊地目白 △

一、\*黒サンコーテウ

一、\*台湾ヒヨドリ

○ 五色ドリの声マツ問[聞]

一、\*台湾大タカ

一、\*金鳩 七月十八日取ル

一、\*南洋大クエナ?カ 七月十九日

\*黒サギ

\*小千鳥? 七月十八日見ル後日はハ磯シギト判明セリ

\*紅頭コノハヅク 七月十九日一羽才得

\*バン クエナ(幼鳥才得) 廿一日親二羽才得

\*紅頭クエナ

#### 火焼嶋ハ

中央の高地ニヤ、森林ラシキオ見ル。此ノ地帯ハ皆各々急斜面ノ谷オナシ登攀実ニ容易ナラズ。此ノ中ニ突出セル大木ノ在る処ハ鳥ノ渡リノ目標オナセル者ニシテ殊ニ鳩類ノ如キハ然リ。常棲木と云テ然ル可キ木オ発見スレハ極メテ容易ニ打取ル才得可シ。思ハザル多クノ鳥類オ茲ニ見出セリ。春秋渡鳥期ニハ必ずや多くの者オ発見スル才得ベシ。

#### 紅頭嶼

ハ中央ノ北寄りニ大森林在レトモ皆急坂オナシ登攀容易ナラス。此ノ間ニ於ケル深キ谷々ハ処々瀧オナシテ進路オ断テルニハ閉口セリ。熱帯植物ノ珍ラシキ者繁茂シニ昼猶暗キ処多ク周囲十一里ト云フモ回周ハ時間ノ無キ余ニ取りテハ寧ろ無用ノ事タリ。即チ目星ノ谷々山々オ目差シテ突進、茲ニ六日間多忙オ極メシー週間ナリシ。上陸ニ際シ余ハ●艇転覆セントシテ急立チトナリ(激浪ノ為)右ノ母指オ折損シ、且つ後頭部オ打チ附ケ各部ニ負傷セルハ遺憾ナリ。何分激浪押寄セル海岸ノ事トて少シク風浪在レバ上陸出来難

{田中長兵衛(紅頭嶼)}

く、亦上陸シ居ル人々ニて一ヶ月才宜シク此孤●嶋ニ残サル、事出来スルハ実ニ遺憾ノ事タリ。

#### 七月 日

紅頭クエナハ遂ニ捕獲セリ。大洋大クエナニ似タリト称セル論文鷹司氏ニ抛リテ発表サレタルモ彼ハ多分朧山の鈴木が南洋ヨリ持参シ是オ本嶋産ナリトシテ採集をセサル者オ本嶋を生産地トシテ出セル者ラシク余ノ捕獲セル者ハ全ク別種タリ。

七月廿三日

[午]前四時半本船見ユトノ事ニ一同大騒ギシテ食事等を終リ手荷萬●事ノ仕度クオ終リ遂ニ乗船スル事トセリ。余ハ所長田中長兵衛氏と同船シテ重要書類及標本丈オ積込ニシ本船ニ至レリ。出船ニ際シ激浪船首オ打ち泡沫ハ頭上オ越テ余ノ衣オニ[濡]セリ。腰ハ水ビタリナリシ。

丸ト云フ小形船ナリ。

荒木ハ衣袋及銃ニ挺及弾薬及附属品トランク彼ノ行李並ニ余ノ衣包及机其他オ積込シテ出船セントセルニ遂横様ニ転覆シテ全部水浸シトナリ。陸ニ帰ランカ激浪ノ為ニ船ノ運轉自由ナラズ為ニ□□サル、ハ明カナレハ無積[責]任ニモ彼等生蕃等ハ水低[底]ニ浸リ居ル荷物オ其ま、二本船ニ游キ着ケリ。荒木ハ自分ノ衣類入りノ行李オ大切ニシテ弾薬入ノ方オ放任シ居タリ。皆水浸リトナリテ用オナサス。其他薬紙製品及多沢山ノ要品ハ用ユル事才得ズ。本船ニ揚ゲテボーイオシテ衣類丈ケハ真水ニテ洗ヘタリ。銃モ塩水ニ入りタリ。

先ニ余ハバスケットニ入テ携ヘタリシ弾薬帯在リシオ以テ漸クニ火焼嶋ニテ少シノ採集物オ得ルを得タルハ不幸中ノ幸ト云フ可キカ。

七月廿四日

[午]前五時、台東着。六時上陸、豊津館ニ宿ル。塩水浸シノ衣類や銃器附属品等荷物ノ洗濯才頼。

火焼嶋 七月廿六日

台湾頭赤青鳩 普通

鹿ノ子鳩 ヤ、少シ

三光鳥 少

火焼目白 多シ

台湾ヒヨドリ 普通

セツカ 少シ

琉球燕 少シ ●四回見タリ

雨燕 多シ

○バン ——水田の在ル処ニ多シト余ハ見ズ

七月廿五日

台東発十時五十五分。里ニ[壟]着[午]後一時半。

七月廿六日

ヨク降り出せる雨ハ八日ニ至ルモ已マズ。余ハ廿六日ニ濛雨オ冒シテ出獵セルニ紅鳩及クエナ等才得タリ。

廿八日ハ休ム

七月卅日

河原二於テ六羽ノ台湾ヨタカオ見テ全部オ捕獲ス。斯クノ如キ事ハ少シ。  
此日燕千鳥ノ胃袋オ検シタルニ甲殻蟲及有翅蟻ノ大形ノ者ノミナリシ。

南町署下附

先ニ台北洲[州]下附、火薬所持許可証

第三〇七七号

無煙	黒色	村田管	
四百匁	壹百匁	壹千個	
期間ニ就キ消費			
昭和七年五月末日	三十匁	式百五十発	
無煙	百五十匁	四十匁	三百五十
昭和七年七月卅日	三十匁		六百五十発
百五十匁六月末			四百発
●百五十匁七月末	差引無し		
	八月二日発送		

山階家へ小包十号十一号及自家へ二ヶ送りタリ。本日送金請求ス。

八月一日

荒木台東熱ノ為めニ先づ到[倒]ル。余ハ先ニ高氏ニ何ぞ紅頭嶼ニて悪い病菌体内ニ入り込ミシヤモ知レズ故ニ是ヨリ登山スル故予め予防注射オト依頼セシニ彼ハサルバルサンオ三日も続けて注射シ余ハ足部痛ミテ困リタリ。其ヨリ荒木も益々具合悪シトノ事ニて余ハ高氏ノ来診オ求めタルニ彼氏ハマラリヤナリト云シ故マラリヤナラバト直ニ注射オシ認ヘタリ。

八月四日

余モ荒木も此日ハマラリヤノ注射オ受タリ。直ニ全身ニ小赤ニ[斑]点一面ニ見ヘ始めハ何ナラント気遣シ居ル内、血液ノ係リノ人ニ依頼シテ検鏡セシニマラリヤ菌ハ全く無しトノ事ニて驚テ直ニ鹿野ノ医ヲ迎ヘル事ニシタリ。薬ハ五日早朝便タリ。是オ呑ムニ耳少シモ聞ヘズナレリ。

八月七日 九十〇度

本日山階家へ病情[状]ヲ報告ス。

八月十三日事

本日先ニ発表サレ居リシ靱山氏ノクエナニ就テ余ノ{室内九十三度}見オ申述ブ。本日小シク快方ニ向フ。

八月十七日

本日山階家へ狩猟免状ノ延期願オ提出シテ関山オ充分ヤル可キヤ其共快覆[復]次第、南湖大山ニ向フ可キヤ電返ヲ要スル趣申送レリ。姫青鳩ニ就テ自己ノ意見オ申送レリ。

八月十八日

本日山階家ヨリ金五百円也送附シ来る。東京八十二日附ナリ、約壹週間ニテ郵便物ハ到着ス。

八月廿日

本日山階家へ領収書ヲ出ス。余ハ未タ離床シ兼ねタリ。荒木も余程廻覆[回復]シタルモ猶未ダ起居ノ事不叶。耳ハ聞エス身体ハフラフラニテ閉口セリ。本日午後山階家ヨリ見舞状来ル。自家ヨリハ金員不足ニ就テ送金ノ件申来ル。

八月廿一日

本日山階家へ御見舞ノ礼状差出し亦自家へハ昨日打電シ山階家へ願出可くて申送る。本廿一日ハ日曜故如何共致シ兼ね。

{壹百円自家へ電為替送ル 廿二日迄ノ薬代支払

十四円四十銭

八月廿二日

本日荒木ハ腫物甚シキ為メ鹿野ノ病院ニ行カシム。午後一時半帰ル。此日丁度総督東部巡視ノ日ニて当里ニ[壘]駅ニて列車ハ行違フ。余ハ平熱以下トナリ。唯耳カ聴ヘヌ迄ノ事ナリ。

八月廿三日

本日余ハ気分余程快覆[復]シタリ。熱ハ三十六度[度]五分トナレリ。漸ク平常ニ覆シツ、在リ。

八月廿五日 七十五度夜

本日夜十時十分先ニ照会シ置タル件ニ就キ山階家ヨリ返電来ル。自分ヨリ申送りシ意味オ誤[誤]解セラレシ者ナラン。即チ当地オ引揚テ南湖大山ニ向フ可キ由申来リ。然モ新高主山オ採集ス可キ由モ申来ル。余ハ新高主山ハ最モ大切場処故最良ノ時期明年四、五、月ノ二ヶ月オ是ニ宛テ置キシニ如何ニセラレシカ。今突然ニ申越サレタルモ南湖大山オ終レハ既ニ十一月トナル故彼ノ最高峯オ十一月ヨリ採集スルハ是素人ノ考ナリ。余ハ始メヨリ五月六月ヲ最良ト考ヘ居タルニ殊ニ新高主山ノ東南方ノ採

集ハ亦ト無キ好個の機会ナルニ事行違ひを生し互ノ考ニ  
呉[誤]解オ生シハ遺憾ナリ。廿六日朝直ニ余ハ自分の  
考オ打電セリ。

八月廿八日

本日の台湾新聞ニ鹿嶋萩鷹伯爵薨去の報在リ。直ニ山階  
家へ御悔状オ差上グ。

本日朝 七十五度

八月卅一日

本日残り標本才第十二号小包ニテ差送ル。余等ノ病気モ  
余程快覆[復]セルオ以テ最近良日オ袂撰み出発スル筈ト  
決セリ。

台東[庁]へ狩猟免状オ返納ト同時ニ捕獲届オ出ス。

九月三日

長ラク住ミ慣レシト思フ可キ里ニ[龔]オ出立ニ際シ自分  
ハ早く出立シ度キニ[念]ニ充テリ。東旅館ハ金採リ一方  
ニテ不親切ナリシ次第ナレバ[ド]余ハ充分手当を支給セ  
リ。何トナレハ不親切トハ●雖モ一ヶ月余病臥し居タル  
オ以テナリ。

九月三日花連港泊リ

本日午後三時花連港ニ着セルモ既ニ連絡の自動ハ[午]前  
八時ニ出発セル後ナリシオ以テ且又蘇澳トノ途中続立不  
可能ナリシ故一泊スルニ決セリ。江近やと云ニ宿ル。此  
日一泊三円五十銭昼飯壹円五十銭ナリ。花連港ハ東海岸  
一ノ良街ナリ。

蘇澳着九月 {郡長甲木豊吉氏}

四日午後着蘇、矢張り江近やと云フニ宿ル。丁度折悪シ  
く日曜ナリシオ以テ五日郡役所ニ至リ南湖太山奥地入蕃  
願オ提出セルニ早速特別ニ例オ破リテ許可スルニ決、直  
懇ノ為メ台北洲[州]ニ電話ニテ此ノ旨申シ通ゼシニ  
理蕃課ニテハ許可セヌ方寸ナリト。茲ニゴタゴタオ生シ  
余ハ如何シテモ台北ニ至リ弾薬欠少ノ補充スル必要在リ  
タル故五日午後四時過蘇澳出發シ台北ニ行キ弾薬の方ハ  
直ニ許可ニナリシモ理蕃課長ニ会ヘ種々ト談シタルニ普  
通場合南湖太山ハ勿論、他ノ近クノ蕃地ト雖モ内地人ノ  
狩猟オ全ク禁止シ居レリ。然レトモ今回ハ山階家ノ採集  
故特ニ南湖太山ニ近キ太平山オ許可スル事とし且大形獸  
類ノ捕獲ハ引慮シテ慾シキ由何トナレバ彼等ノ主食物タル  
獸類オ余ガ捕獲セバ愚蒙ナル蕃族ガ如何ナル考オ持テ  
返憾[反感]オ懷クヤモ不知、由[油]断ナシ難キオ以テ是  
等ノ獸類ハ他ノ場所ニテ捕獲セラレタシトノ事ニ一致シ

タリ。蘇澳ノ宿料ノ高価ナルニハ驚キタリ。

九月六日

午後三時二十九分発ニテ台北発車シ午後八時蘇澳ニ着セ  
リ。

九月七日

{羅東郡長梅谷修三氏}

蘇澳郡役場ニ挨拶ニ行[午]前十一時十一分出立シ

羅東着

七日[午]前十一時卅三分ナリ。中食直ニ郡役場ニ出頭シ  
タルニ台北理蕃課ヨリ通知在リ者ト見ヘ即時ニ許可証下  
附セラル。羅東ハ良キ街ナリ。平坦地ニテ木材集散多ク  
附近皆水田青々トシテ今ハ第二回作附ニテ既ニ尺余ニ●  
發育セリ。

九月八日

羅東発ノ森林鉄道ニヨリ土場迄着セルハ午後一時。折柄  
大雨盆転覆ノ勢を以テ降り来リ。然も土場ト樞ノ木平ト  
ノ間ノ連絡無ク普通ノ旅客ハ非常ニ困難ノ処ナリ。二時  
四十分ニ発車ノカソリン軌道車在る由ナルモ此ノ間昇リ  
一増甚シキ道程約一里、到底[底]ニ時ノ発車ニ間ニ合ハ  
ズトノ事ニテ土場ノ倶楽部ニ一泊スル事トセリ。此間一  
向変リシ鳥オ見ズ。主トシテ低地ノ鳥類ノミナリ。

九月九日

[午]前五時起床直ニ仕度オシテ食事オ終リ荷物ハ土場駅  
長及倶楽部ノ支配人

{太平山倶楽部}

ノ好意ニヨリテ索道ニヨリ引揚げラレ余等ノ樞ノ木平ニ  
着後間モ無ク到着セリ。折悪シク土砂崩壊中ノ事トて工  
事中ノ所在リタルモ駅長ノ(栗ノ木平)好意ニヨリ特ニ  
軌道車オ仕立テ荷物オ一車ニ載積シ発車セルハ七時四十  
五分ニテ此間実ニ断涯絶壁ノ間オ通道アウヤト思ハシム  
ル処多々佳ナリ急傾斜オ昇リテ太平山ニ着セルハ[午]前  
十時。直ニ営林署ニ出頭シテ宿泊オ願ヘ、又警官駐在所  
ニ挨拶ニ行キタルニ未ダ郡役所ヨリ案内来ラサル由ナリ。  
部長 氏曰ク茲ハ禁猟区ナリト主張シ居ラレタルモ余  
ハ訳オ説明シ了解サレタリ。

九月十日

本日南方モロラフ方面ニ向テ谷オ越エ登リ又ハ降りノ急  
坂オ進行シ黒鳩ノ多ク居ルト思ハレシニ[雑]木ノ森林オ  
見出しタ是ハ●モロラフセ[ヨ]リ加羅山上方ニ通スル道  
路ト連絡スル所ニシテ南方直至[徑]壺里余ニシテ南湖大

山ニ至ルオ得

加羅山及太平山附近実見鳥類 九月十一日

- \*カヤノボリ 少
- \*マルハシ 少
- \*ヒサンシヨクエ 多
- \*青鳩(台湾) 十月二少 5,6キ口附近二羽
- \*台湾珠ニ[子]掛鳩 多シ
- ヒメアマツバメ 十月去
- コシアカツバメ "
- ハヤブサ 希
- オナガ 九月十日 多シ
- \*ヤブドリ 以後
- \*シメドリ
- \*アリサンミソサバエ ●●
- \*カンムリチメドリ
- 小ウグエス? 多希
- \*ミソサバエ 高砂
- \*キセキレ
- \*ゴシキドリ
- \*ミヤマヒタキ
- カワガラス
- \*シロクロヒタキ
- \*ルリテウ
- 多 頬白セキレ
- 台湾ンコゲラ(三羽オ見タリ)
- テツケイ 下方ニ多シ
- (ここまで一段目)

- \*台湾大赤ゲラ
- \*ツ[ズ]アカチメドリ
- \*台湾嘴太ガラス
- \*茶服[腹]大ルリ
- \*耳白血目ドリ
- \*台湾ホシガラス
- 九月十二日

- \*クマダカ
- \*チヨゲンホー
- \*ウグエス(台湾) 小ウグエス
- \*台湾黄服[腹]無地セツカ深由ホウグエス
- \*河ヒタキ
- \*金羽ホエビー
- \*茶服[腹]五十柄
- \*チメドリ
- \*サンケイ

- \*高砂ウソ 14/9
- \*黄服[腹]四十雀 15/9
- \*台湾山ゲラ "
- ワシ
- \*新高菊戴 17/9
- \*台湾日柄
- \*頭赤ガラ(柄長)
- \*阿里山ヒタキ 18/9
- (ここまで二段目)

- 黄羽ダルマ柄長 20/9
- \*ミカドキジ 18/9 少
- アオ\*花鳥? 20/9
- 138\*台湾ツグミ? 九月十五日二羽
- \*ハイタカ 九月廿日
- \*台湾コノ葉ヅク
- \*チゴハヤブサ 21/9
- \*ハシブトチメドリ 新高
- \*大ルリ 1/X
- \*アリサンチメドリ
- \*タカサゴマシコ 2□
- \*ヤマザキヒタキ
- \*胸赤 ヒタキ 24/9
- \*台湾ツミタカ "
- ミソサバエ 26/9
- 三光鳥? 黒色ノ長形小鳥 2/10
- オシドリ 2/10 二羽オ見タリ
- 一 タカブシギ " 二羽 三羽オ見
- \*メボソ 3/10
- \*小サメヒタキ 4/10
- \*青血眼鳥 5/10
- \*竹鳥 十月末多 5/10
- \*台湾山柄 5/10
- \*シマゴマ 希 7/10
- (ここまで一段目)

- {290 山娘ノ尾}
- \*台湾頭赤青鳩
- \*阿里山ヒタキ(胸脊赤ヒタキ)?
- \*山娘 15/10 十位
- 黒ヒヨドリ 六七 "
- オーチウ "
- \*頬●蟲喰●/10 少
- 大冠鷺 二三回見ル
- \*腰白蟲喰 17/10 少

河原セウ ●● 六羽オ見ル

（ここまで二段目）

可ク。南湖大山ハ頂上ハ大低<sup>ママ</sup>[抵]草原ニシテ処々ニ針葉樹林在リテ当加羅山ト同位ノ高サニ於テ始メテ大森林トナリ、南北相連リテ二三ノ溪才越テ当地ニ至ル。西方ハ頂部草原トナリ、両脇ハ森林オナシテ遠クピヤナン鞍部ト連レリ。雪高山ハ山頂部ハ裸出シテ赤ク突<sup>ママ</sup>[尖?]リテ下方ノ森林帯ハ左程大ナル樹木多キ様ニ見ラル、モ遠キオ以テ判然セス、南湖大山ハ樹木ノ数才算定出来得程明瞭ナリ。加羅山最南部（太平山管下）ハ直ニヒヤハウノ上部近クニ在リテ別ニ南湖大山ト当地ノ高処ト変リシ鳥ノ在ウ筈無キ様思考サル。

鳥鳩ハ昨日ハ四五十羽ノ一群オカラツプ沢の上ノ地帯ニ見タルモ接近スルオ得ス。十一日再ビ行キシモ折悪シク何処ニ行キシ者か一向見当ラズ。帰路宜ノ上オ此ノ一群ノ飛過シテカラツプニ向フ者ナル可シ。

九月十二日

本日ハ南東方面の高台蛭ヶ尾ヨリ更ニ進行シテ加羅山最高処近クニ至ル途中古キ挽材場ノ在リシ腐木ヤ根ノ在ル処ニハ金羽ホエビー及ヤブ鳥、木回、其他ルリ鳥等オ見タリ。鶯一羽飛出シ古キ道路ニ山鶏一羽出居リタリ。非常ノ登り坂ニて一時間半オ費セル坂モ在リタリ。

九月十三日

本日雨中出獵シテ一向鳥ニ会ハズ。源スコイシノ中間迄行キジユス掛鳩二羽オ射落シ一羽丈得タリ。全部ニ<sup>濡</sup>シタル故早く帰ル。寒クシテ慄ヘタリ。二時着歸。

九月十八日

本日ハ加羅山頂大嶺ニ至リ寒霞溪ノ急坂オ降途中ミカド雉子雌ニ出会ニ<sup>瞬</sup>[瞬?]時ニて飛逸ス。余ハ安全器オ掛ケ肩ニ斜ニ負ヘ居リシ為メ急キ取り降り安全器オ免シタル時飛去リタリ。前日ハ荒木雄鳥ノ尾ノミ木<sup>ママ</sup>ノ木ニ出居る見附シモ間モ無く彼ハ枝ノ密ナル下ニ入りテ射撃スルオ得サリシ由。

九月廿一日

本日山階家ヘ向金員請求ノ打電ス。

九月廿二日

本日山ヨリ帰来セシニ山階家ヨリ金五百円也送附シ来リ居リタリ。四種ノ新番号才附ク可キ鳥オ得タリ。

九月廿三日

山階家ヘ金員領収ノ打電オ発ス。昨日以来点呼ノ為余ノ居室全部開放シ仕事ニ困レリ。

{此頃ノ始メテノ天気遠方ノ山々見ヘタリ午後濃霧雨}

十月二日

加羅山上海抜六七千六百尺以上ノ所ニハ柄雀類ト、茶服<sup>ママ</sup>[腹]五十柄位ノ者ニテ他ノ鳥ハ余リ見当ラズ。余ハエンクラニ通ズル横ノ古道路オ通りシニ谷ノ深キ処ニ黒色ノ長形ノ大サハルリヨリハ小形ノ鳥オ見シモ射撃ノ瞬間無く遂ニ之オ逸セリ。鶯ト思ハル、者オモ見テ射シモ獲ズ。本朝台湾ツグミー一羽オ見タルモ遠クシテ藪ニ入りテ見エズ。オシ鳥二羽及タカブシキ、二羽オ見タリ。

十月三日 午後雨

本日寒霞嶺ヨリ下ノ蕃カヤマイ線道路ニテミカド雉子ノ幼鳥数六七羽ノ群ニ出会シ四羽オ得往路老鳥二羽オ得荒木ハ山鶏ノ♂オ見タリト。此ノ頃漸ク諸鳥渡去セシ者多く殊ニヒタキ類ハ下方ノ温和ナル地方ニ去リシナル可シ。本日メボソオ見ル。

十月四日 朝来雨ニ終ル

本日蕃人等多数ニ出会ス。彼等ノ一人ハ荒木ノ負テ居ル銃オ呉<sup>ママ</sup>[誤]發セシメタリ。\*小サメヒタキオ得。

十月五日

本日土場方面ニ向テ線路オ進行セシニ台湾頭赤青鳩及青鳩等同一ノ木ノ木実オ喰シ居リテ右ニ種オ区別シ難キ程ナリシ。本日

{大トラップ盗マル。}

土場ノ上ニキロノ地点ニて台湾ヤマガラオ得タリ。竹鳥ハ漸ク此頃何レヨリか渡来セシ者と見ヘ甚タ多ク見ヘタリ。

十月六日七日

土場行ノ際魚肉塩蔵（多分石灰漬?）オ知ラズシテ食セルオ以テ非常ニ<sup>ママ</sup>服[腹]痛オ起八日迄休獵シ荒木オノミ出獵セシム。

十月十日

台湾頭赤青鳩を捕んとて山を降り始めしニ雨降りてニ<sup>ママ</sup>[戻]ル。小包の箱を造る。

営林所へ数回依頼せしも一向要領を得ず。致し方無く古箱ニて造ル。

十月十七日

朝来ノ雨霧にて閉口セルモ下方面ニ出動。一向鳥ニ出会セズ。是ハ先日(尙週間以前)ノ寒サニ各鳥一斉ニ温和なる気候の地方ニ移動セルナリ。目下残レル鳥も皆3000尺位の処ニ居リテ種類ハ少ク高所と唯日柄、及菊戴位カ希ニ居ル丈ケナリ。更ニ新シキ鳥渡来スルニ非レハ採集上既ニ引揚ゲ可カリシナリ。是を山階家ニ報告シテ余ハ下山シ更ニ新高山を春季長く採集すれば同じき事ナリ。

{永田チヨ(太平山の) 営林所}

十月十九日

土場迄降りタルモ一向新シキ鳥オ見ズ。熊タカオ得タリ。此頃高山鳥の移動甚シク大低[抵]ハ下山シタル者の如ク特種ノ者ニ非レハ見エス。日柄及菊戴迄少クナレリ。目下多キ者ハ左記

冠血眼鳥、○ヤブドリ ○目白血眼鳥及頭赤血目鳥、耳白血目鳥、及啄木鳥ノ一部位の者ナリ。余ハ一向新種を見ざるを以て台中洲[州]ニ行く可ク山階家ニ書面オ出ス。

十月廿二日

本早朝来濃霧ナリシモ営林所河井氏ノ世話ニテ台車ニ台ニ荷オ積ミ一時間ニテ十五キロ位の速力ニテ走ラス。雨衣ニ当リテ前面ニ[濡]れ寒サ強シ。樫ノ木平ニテ荷物を索道ニ降スオ依頼シテ土場ニ降りシニ既ニ荷物ハ着シ居タリ。当日ノ午後一時頃、竹林ニ着ス。先ニ荷物オ預け置キシ伊藤旅館ニ至リシニ雨大降りトナリ、已ムナク一泊。曜[翌]日附近視察スル筈ナリシモ降雨ノ為メ逆行スルオ得ズ。立ニ決シタリ。

十二月廿三日

日曜夫台北市着○旅館ニ宿泊ス。先ニ出願ノ火薬携帯許可証下附成リ同館主水野浅治郎氏より受取りタリ。

{台中洲[州]知事竹下豊次}

十月廿四日

本日九時〇二分発車ニテ台中ニ向ふ。午後二時四分着台セリ。五時間オ要セリ。

直ニ台中市営町二丁目十二番地

足利五男

方ニ宿泊ス。直ニ保安課ニ出頭シ狩猟許下[可]証下附申請書オ出ス。

先ニ地図ノ上ニテ豊原附近オ採集地ト定メシモ實際ニ観察[察]スルニ全くの平地ノ鳥ノみニテ思ハシカラズ故ニ余ハ集々線オ視察スルニ決セリ。豊原附近ハ山低ク木ハ少シ。

十月廿五日

集々線水裡坑迄ノ切符(2,16,5)オ買ヘ二人ニテ視察ニ行く。二水附近ハ非常樹木茂リ好個ノ場所ナルモ時季尚早故内、鮮方面の鳥ノ渡来オ見ルニハ少シ早く途中集々迄ハ小山ノミニテ処々ニ樹木オ見ル。水裡坑ハ北ニ集々大山在リテ其他ノ高台ト連リ南ハ鳳凰山少シク離レテ鑾太山等在リテ皆六千尺近キ山ナリ。然シテ茲ハ交通ノ要路ニ当リテ補昇及竹山郡方面及新高登山同[道]路等在リ。濁水溪ハ各小川オ合シテナルモ主トシテ新高方面の新高郡ト竹山郡山郡ト界[堺]オナシテ流ル。

廿七、八日ハ台湾神社祭礼トテニ[賑]フ。

台中近クの鳥

ヨシキリ 台中ニテ二回(二日)見ル  
ツバメ

腰赤ツバメ

カサハキ 少シ 台中以南

白頭 割合少ク人家附近ニ見ル

五位サギ 森林、ニハ見ル台中神社の森ニテ

キセキレ 少キモ処々ニ見ラル

小サギ 多シ各地ニ見ラル

高砂モズ 少キモ見ラル

オウチウ 多カラズ至ル処ニ見ラル

頬白セキレ 少シ

姫トビ 多カラズ

姫目白 ヤハ多シ

十月廿七日

午後三時過キニ台中署ヘ出頭シタルニ漸ク狩猟免状下附サル。

十月廿八日

[午]前九時廿一分過台中発車ニ水オ至[経]テ午後一時半着。水裡坑、松の家旅館[小谷]ヌイ方ニ宿泊スル事ニ極メ直ニ視察ニ出掛ク。大分ニ良キ処ラシシ。

水裡坑附近ノ鳥 七年十月廿八日ヨリ  
十二月四日迄

\*小サギ

\*磯ヒヨ(台湾)

●●\*爪長セキレ 多

\*目白(姫)

\*腰白金服[腹]及縞金服[腹]

\*オーチウ

\*高砂モズ

\*台湾尾長  
 \*頬白セキレ  
 \*白服<sup>ママ</sup>[腹]クエナ  
 \*台湾スバメ  
 \*姫トビ  
 \*ツミ鷹  
 胸赤隼？  
 \*大冠ワシ  
 \*黒ヒヨドリ  
 \*紅サンシヨ喰  
 \*河ヒタキ  
 △\* ヒタキ  
 \*山娘  
 \*姫サ、五位 △  
 △\*草シギ 希  
 \*小千鳥  
 （ここまで一段目）

△鶺鴒  
 △\*ハウチワドリ  
 △\*カサ、キ  
 △\*台湾ヒバリ  
 \*台湾小ゲラ  
 \*姫オウチウ  
 \*目白血目鳥  
 \*台湾大嘴ガラス  
 \*黄セキレ 多シ  
 \*磯シギ  
 \*台湾河セミ  
 △ミサゴ  
 △\*白ガシラ  
 △\*朝鮮シヤウドウ燕  
 \*目細  
 \*カヤノボリ  
 \*笹五位  
 △山シギ 1/XI  
 \*血目鳥 " 多シ  
 △ヨシ五位  
 \*襟黒ヒタキ  
 \*ホエビー  
 \*頭赤血目鳥 多シ  
 （ここまで二段目）

\*金服<sup>ママ</sup>[腹] 多シ  
 △\*紺ヒタキ 希

\*テツケー 多  
 50 \*鹿ノ子鳩 多シ  
 \*キジ鳩 1/XI 少シ  
 \*ルリ鳥 少シ  
 \*青血眼鳥 3/XI 多シ  
 △\*鍋鴻 希 4/XI  
 \*金鳩  
 △\*青花鳥（小形）  
 ベニバト 7/XI 集々大山  
 △\*姫岩燕 8/XI 多  
 △\*腰赤燕 "  
 △\*ピンズエ " 二羽丈ケオ見ル  
 △\*深山テツケー 8/XI 高山ニ多シ  
 \*姫丸嘴 常ニ多  
 △\*サメ色田雲雀 9/XI  
 △\*田ヒバリ  
 △\*胸赤田雲雀  
 \*琉球燕 18/XI  
 △\*足長鷺 "  
 △灰色宙飛 11/XI  
 △宙飛 "  
 （ここまで一段目）

△ 五位 11/XI  
 △\*赤服<sup>ママ</sup>[腹]燕 13/XI 少シ  
 \*燕 多シ 13/XI 70  
 \*青葉扇鳥 15/XI  
 △\*唐青地 "  
 △\*ノジコ 16/XI  
 \*台湾ニウナイ雀 17/XI  
 △\*田シキ " □  
 \*小蟲喰● 18/XI  
 △\*朝鮮ウグエス 18/XI  
 △\*高砂ダルマ柄長 19/XI 80  
 △\*野ヒタキ♀ 23/XI  
 △\*針尾シギ "  
 \*三ニ<sup>ママ</sup>[斑]ウヅラ 多  
 △姫三ニ<sup>ママ</sup>[斑]ウヅラ 24/XI 少  
 \*台湾小ヒバリ " 希  
 \*鳴赤モズ 21/XI 少  
 △琉球モズ 23/XI  
 △\*河原ヒワ 29/XI 六羽オ見ル  
 △\*夷蟲喰 3/XII  
 △\*白服<sup>ママ</sup>[腹] "  
 \*緋衣 4/XII

(ここまで二段目)

十月卅日

水裡坑警官駐在所ニ出頭シテ免状オ示シテ了解オ得。  
河下ニ行キシモ一向変リシ鳥オ見ズ。濁水濤々トシテ激シテ牛馬ト雖モ唯一撃ニ押流ス勢ナリ。鉄索ニテ竹山郡ニ渡ル所ニ行キシモ余リ良キ獲物モ無キ様子故上流ニ戻ル。台湾磯ヒヨハ割合ニ多シ。ヒバリモ処々ニ見ラレタリ。此附近より下流ハ非常ニ巾廣キヶ処ニテ何ぞ他ニ色々ノ鳥オ見ルオ得ベキ？昨日見シギ(タカブ?)本日行キシモ居ラズ。

十一月二日

昨日及本日濁水溪ノ鉄線籠渡シオ起テ鳳凰山麓オ綿密ニ物色シ歩キシモ好キ獲物無カリシハ惜シ。是ハ時季ノ関係ニ抛るナル可ク思ハル。濁水溪ノ断涯上ノ茅原ニ紺ヒタキ一羽オ見テ射シタルモ巨[距]離余リニ近ク弾薬ノ送り蓋命中セシクバ胴ハメチャメチャトナレリ惜シ。台湾ヒバリハ此ノ辺ニモ居る事分明セリ。是ハ先ニ新竹洲辺ニ限ラル、様記載サレ在ルモ此辺一帯ノ地ニ少キモ分布シ居レリ。即チ翼長ハ九十ミリ位ニテ嘴峯ハ拾五六ミリオ算ス。是ハ確カニ台湾ヒバリト思ハル。

十一月三日

本日朝警察署より係員出張シテ余ノ所有銃器番号オ実地ニ検査セリ。

午後ニハ火薬の届出オナセリ。

台北、二、一二九号	消費高	二百匁
許可ノ月日七年九月十三日	現在残存量	二八〇匁
火薬	獵用無煙火薬	
数量	四百八十匁	

本日刺鼠老頭オ7、8号♂ナリ。此辺ニ居棲する山鼠ハ此種オモ含ム。

十一月七日

本日集々大山ニ登ル。壱千五百米突[メートル]位ナリ。佳ナリ嶮阻[険阻]ナリ。上方ニ樹木茂レルモ一向珍鳥オ見ズ。唯山娘、紅鳩、五色鳥、目白血眼鳥、血目鳥、頭赤血目鳥及姫丸嘴等及岩燕？雨燕断涯上オ飛廻リ居ルオ遠望セルノミ。紅鳩ハ山娘ニ一射セル時三十羽程飛ンデ頭上高ク通過セルオ見タルノミ。

十一月八日

本日濁水河畔ニ出タルニ姫岩燕及腰赤燕等多ク見タルモ

腰赤ハ余リ河畔ニ来ラズ。遂ニ一射シテ逸シタリ。然シ市街附近ニハ多く飛廻リ居タリ。

十一月九日

本日昨日ノ岩燕オ射ントテ弾丸ノ仕度オナシ行ケルニ岩燕ハ見エズ。唯腰赤燕ノミ電線ニ止リ居レルオ見ル。濁水溪オ涉リテ対岸ノ水田ノ苺[刈]取リシ跡ニ至レバ田雲雀多く渡来シ来リ。其処此処ニ三々五々餌オ求メ居ルオ見テ此レ等オ得タリ。昨今朝夕ハ六十七八度迄汽[気]温低下シ好個ノ渡リ日和ナル為メナラン。

十一月十日

本日射筒ニテ小鳥オ射つ。少量ニテ近巨[距]離ナラバ有功ナリ。本日始[初]メテ渡来セル琉球燕オ得タリ。亦昨日ノ\*田雲雀等ハ何れヘカ渡去セシ者ノ如ク。頗ル少数ノ爪長セキレオ見ル。台湾ヒバリモ群オナシ其処此処ト移動シ居レリ。本日ハ足長ワシオ得タリ。

十一月十三日

本日先ニ罟ノ置キタル処ニ行キタルニ灰服[腹]鼠ニ頭オ得タリ。割合尾ハ矮[短]シ、先ニ鍋鴻一羽オ獲シニ本日亦モ一羽オ遠方ヨリ見タリ。

十一月十五日

本日山階家ヘ集々ヨリ小包十八号発送ス。

青葉扇鳥及唐アオジオ得タリ。

十一月十七日本朝六十七度

本日山階家ヨリ金五百円集々局ヘ送付シ来ル。

十一月十八日

本日外車怪[径?]より少シク遠方ノ隧道内ニ蝙蝠多数棲息スル由聞キ及早速出掛ケタルモ一向ニ見ズ。舊ト彼等ノ棲所ト思ハレシ処ニハ沢山ノ糞積岱シ在リシモ時季ノ都合ニカ一頭モ居ラザリシ。此頃ヤ、寒冷ナ氣候トナリシ故何レニカ(南方の)去リシ者ノ如シ。

此頃毎日渡来鳥類オ見ル。本日\*朝鮮ウグエス及青地ノ♂オ得タリ。

十一月十九日

グリナニ連銃ノ撃針口より散弾ノ小粒入りシ為メ引鉄掛ラズ為ニ鳥オ逸セリ。

高砂ダルマ柄長渡来ス。

十一月廿三日

本日針尾シギ及野鶺渡来ス。

十一月廿八日

二水迄出張し濁水駅ノ南方にて\*田シギ\*針尾シギ及\*草シギ等オ見ル。其他ノ鳥ハ多カラズ。何等新シキ鳥ニ出会セズ。

十一月廿九日

本日ニウ苗雀ノ一群渡来し是ト群オ同シテ河原ヒワ六羽始〔初〕メテ渡来セル内♀ニ羽オ見タリ。兼テ金オ遣し依頼し置タル竹二本来ル。

十二月一日 雨々

十二月二日出立の予定にて色々仕度オ為せしも集々大山ニ穴洞在リテ茲ニ無数の\*蝙蝠棲ム由聞キ及びタリ。抛て出立オ一時繰延テ竹の荷物オ出したルモ三日ニ至リても未だ尚店頭ニ投捨在リタリ。

十二月三日

昨日来オ雨漸く晴レテ晴郎〔朗〕ノ日和トナレリ。余ハ案内人の都合ニテ一日繰延テ河原ト河向への鳳凰山ニ行キシニ第一ノ先頭ノ走り白服〔腹〕一羽オ見タリ。夷蟲喰ラシキ三羽オ得タリ。

十二月四日

集々大山ノ絶頂ニ近キ南面の洞窟〔窟〕中ヨリ大形蝙蝠オ捕獲ス。翼長（第一腕）壹百ミリニ近キ者オ見ル。♀ハヤ、小形ナリ。小形ノ蝙蝠ハ少シ。本日ヒゴロモオ得タリ。

十二月五日

本〔午〕前九時三十七分発にて水裡坑オ出発。

{台南洲〔州〕知事}

二水駅ニ着セル八十時半。直ニ東京山階侯爵家行キ標本十一羽入オ差出シタルニ水裡坑間一円及東京迄五円十銭計六円十銭オ要シタリ。鉄道の方ハ貴重品扱トナル故運賃極めテ高価ナリ。十一時発にて台南ニ向フ。二時半着。直ニ小柳旅館ニ宿泊ス。

十二月六日

本日洲〔州〕庁ニ出頭シタルニ折悪しく掛〔係〕リノ人出張セシ由七日モ留守ナリシ。六日安平港ニ行キシニ一向内地人少ク旅館無し。尤モ台南市ヨリ二十分位にて到着スルオ得ル故余ハ博物館ノ風野鉄吉氏ニ相談し本市内可然処ニ宿オ取ル事とし尋タルニ折良ク庁ノ前ニ熊本屋ト云

フ下宿の二間続キノ離座敷オ強テ借受ケタリ。一月金（二人）壹百二十円の約束にて金五十円オ前渡ス（昼飯附）。

十二月八日

本朝十時小柳旅館ニ充分なる手当をして錦町一丁目十八番地の熊本屋ニ移ル。

{台南博物館}

{風野鉄吉}

水裡坑ノ鳥	256+30=286
目撃鳥類九十種	標本二百五十六ヶ
哺乳類	種 參十頭

十二月九日 土曜日

本日警察署ニ出頭シタルニ未ダ余ノ願書オ洲〔州〕庁ニ提出シ在ラス。多分余ノ身元調査し居ルナル可シ。既ニ五日間ニナルモ平氣にて係ノ者ノ手元ニ在リシハ驚入タリ。

十二月十一日

日曜日ナリシ故余ハ役所ノ方駄目ト考ヘシ故曾文溪迄行キ其ヨリ河谷ニ降りテ他ノ道路ニ出テ帰ル。本日山階家ヨリ書状来ル。鳥ノ件ニ就キ指揮サル。

十二月十四日

午後一時過キ警察ヨリ免状下附オ受け直ニ出獵ス。

十二月十五日

本日海岸及魚池附近オ涉獵ス。一向新シキ者オ見ズ。一行四名蓮鶴ハ多数ニ居ル処オ見タリ。

台南地方ノ実見鳥類 自 七年十二月 六日  
同八年 月 日ニ至ル間

\* 姫トビ 多シ 6/XII

\* 爪長セキレ "

\* 台湾ヒバリ "

△ \* 唐ムクドリ "

\* 姫目白 "

△ 鶺 "

\* 小サギ "

△ 目大千鳥 "

\* 磯シギ

\* 鶺

△ \* 五位サギ 10/XII

\* 小嘴ビンスエ 曾文溪 "

\* 田ヒバリ "

\*台湾ニウ苗雀 多シ "

△\*紫サギ "

\*河原ヒワ "

△\*浜シギ "

\*ムナグロ "

\*チヨケンボ "

\*黄眉蟲喰 "

\*眉羽扇鳥 "

\*台湾スゞメ "

\*台湾嘴太鳥 "

(ここまで一段目)

\*台湾カエツブリ "

\*高砂モズ "

\*オウチウ "

△\*台湾白セキレ "

\*頬白セキレ "

\*台ワン河セミ "

\*唐青地 "

△\*大尺シキ 12/XII

△\*中サギ "

\*蓮鶴 ヤ、多シ "

△\*ミサゴ "

△\*大尺シキ 14/XII

△\*小オバシギ "

△\*嘴白千鳥 "

△\*大ソリ嘴シギ "

\*姫雨燕 "

\*琉球ヨシゴエ

\*姫岩燕 少

△青サギ "

\*鷓

△チウヒタカ

△\*青足シキ 16/XII

△\*台湾大セツカ

(ここまで二段目)

△本印ノ鳥ハ以前ニ見ス当地ニテ始メ見シ者

\* " ハ得シ者

\*胸赤田ヒバリ 16/XII

\*大冠ワシ 17/XII

\*紅鳩 "

△大紅鳩 "

△\*台湾蟲喰 "

\*朝鮮ウグエス "

\*琉球モズ "

△\*目大千鳥 18/12

△\*小青足シキ

\*蕃鷓 19/12

\*燕 20/12

△\*大膳 "

△\*三指シギ "

\*赤服<sup>ママ</sup>[腹]燕 "

△\*タカブシギ 21/12

△\*大ムクドリ "

△\*ヒバリシギ "

\*タイワンヒクエナ "

△\*大鷓 18/12

△\*尾白トウネン ~~27~~● 23/12

△\*キリアイ "

△\*トウネン 23/12

△\*尾黒シギ 23/12

(ここまで一段目)

\*腰白<sup>ママ</sup>金服[腹] 25/12 70

\*シマキンバラ "

\*ホエビー "

\*台湾ヨタカ "

△赤足シギ

△\*台湾クエナ (元ノ嘴長)

\*タイワンキジ 5/1/1933

△\*尾長鴨

△\*日取鴨

△\*白千鳥

△\*面フクロ 西港 7/I

\*小鴨 10/I

\*台湾尾長

\*高砂ダルマ柄長 11/I

\*目白血眼鳥 "

\*姫丸嘴 "

竹鳥—27/丑

(ここまで二段目)

(1頁空白)

十二月十九日

新化迄出張シタルモ良い鳥ニ会ハズ。唐ムクドリ十羽程  
才遠クヨリ望見セシノミ。

十二月廿日 年賀状才出ス。

本日安平の向岸の村落ノ海岸ニ迄出タリ。三指シギオ得タリ。此の頃朝八時頃既ニ干潮遠ク干シ揚りて各種ノシキハ極メテ廣キ場所ニ附キ居リ接近スルオ得ズ為メニ困却セリ。

十二月廿一日

本日山階家ヨリ書状当錦町宛ニ来ル。先ニ水裡坑ヨリ送附標本の内三ニ〔斑〕ウツラハ矢張台湾三ニ〔斑〕ウヅラニシテ姫三ニ〔斑〕ニ非ス。亦羽扇鳥ハ眉羽扇鳥ノ冬羽ナル由。

十二月廿五日

金丸銃砲店ヨリ先ニ注文セシ撃鉄止器出来送附シ来ル。

十二月廿六日

本日海岸の泥土深キ処ニ出獵ス。種々ノ海シキ居リたれトモ五七十間迄ハ接近シ得ズ。極メテ遠方ヨリ射撃セサル可カラズ。実ニ閉口セリ。本日ハ赤足シキ及他の似タル一種オ見タリ。

{北港郡北港郡役所 真方周彦}

一月五日

井上氏オ先頭ニして雉子打ニ北港迄行く。真方氏の案内ニテ犬ニ頭オ連テ出獵ス。雉六羽オ見タルモ打掛ケ得ル者五羽内四羽オ得テ♀一羽ハ犬其尾オ持去リテ標本トスルオ得ズ。帰台セシニ風野氏唐ムクオ持参（2）セラレタリ。

杳月十日 北村市太郎

琴牛禁獵区ニ近キ処井上氏ノ知人北村氏ノ家ニ一泊。四ツ目鹿獵ニ土人多数オ雇へ、キヨンオ追ハシメタルモ皆人声ノセヌ方面ニ走逸シテ若キ者一頭オ得タルノミ。

一月十六日

小包二個オ荷造シ且つ出発の仕度等ニテ多忙オ極ム。余ハ十二番ニ連銃オのミ持参スル事ニナセリ。唯二週間滞在スルノミ故沢山ノ事ハ有之間敷ト思ハル。

一月十七日

本日出立セントスル処ヘ山ニ〔崎?〕常太郎老人高砂黒サキの本製クズシー羽オ持来ル。右ハ昭和五年五月末ニ採集セル者ナリトカ。

{山ニ〔崎?〕常太郎老人}

{台南市港町一丁目二四八}

{井上善ニ〔親?〕（通曉）（廣嶋県人）}

台南市出発

本日午後二時三十七分台南発ノ列車テ出立ス。見送りニ風野氏及井上氏見ヘラル。三時半高雄市着直春田館ニ宿泊ス。明日出帆ス可カリシ連絡船沓岐丸ハ風波荒カリシ為一旦馬公オ出帆セシモ引返セル由。

[一月]十九日

[午]前十時出帆ス。午後二時過キ波浪高カリシモ余等ハ海上ニハ慣レ居リシ故船暈〔暈〕オ感セズ。午後五時半上陸。宿オ呉〔誤〕リ台湾人宿ニ至リ直ニ引返ス。㊦旅館ニ宿ル。

一月廿日

午前九時半書類を役所ニ提ス。警察部長 該三吉氏ニ面会ス。同氏ハ山階家ヨリ書面を丁戴致セシ趣キ話サル。書類ハ台湾ノ例ニ依ラズ直ニ所〔処〕理サレ本日中ニ免状下附の筈ラシシ。

{澎湖〔庁〕馬公街馬公棧橋七四三}

{㊦旅館 原平雄}

澎湖嶋実見鳥類 自昭和八年一月廿日  
至同年一月廿九日

○宙飛 二羽三四回見タルモ接近シ得サリシムナグロ 甚ダ多シ

キヨジヨシギ アイグロト共ニ郡居シタリ

小千鳥 人家附近ニ尤モ多く見ラル

嘴細白千鳥 甚タ多シ

白千鳥 海岸及畑野、ニ多シ

澎湖ヒバリ 甚タ多く淡色ニテ寧赤味在リ

澎湖スバメ 甚タ多シ胸部ノ色彩濃厚ナリ

磯ヒヨ 多シ

浜シキ 海岸及畑中ニ見ラル多カラズ

目大千鳥 白千鳥ノ群中ヨリ採集セリ

トウネン 少 海岸干潮時ニ浜シキ千鳥ト共ニ見ユ

○隼 三回見タルモ接近シ得ズ

チヨゲンボー 割合ニ多●クオ見テ四羽オ得タリ

磯シギ 目下甚タ少クニ羽オ見シノミ

大目大千鳥 畑中ニ多カリシモ四五日ニテ去レリ

キリアイ 浜シギノ中ニ混シ居レリ

台湾白セキレ 四羽オ見タルモ一羽負傷二羽オ得

海鳥ハ時季尚早ク四五月頃ニ多キ由ニテ余ハ海鳥オ全ク見ザリシ

○ハ未採集ノ種ナリ（確實ニ居ルモ）

{気温五四十七度 北風強し}

一月廿八日

午後二時支庁二出頭シ免状才返納ス。丸ハ旅館ニ宿泊ス、以来十日間毎日出獵セルモ一向新ラシキ鳥類才見ズ。定期船千歳丸<sup>マツ</sup>岐丸ハ此ノ四日間瀑[暴]風ノ為め隔日航海ナルニモ不系[係]欠航し今廿八日入港ノ筈ナルモ如何ニカ。

[一月]廿九日

夜八時岫岐丸入港ス。余等八九時乗船セリ。十二時出帆ス。波高し。

[一月]卅日

[午]前七時半入高雄。春田館ニ宿リ手荷物全部オ水裡坑迄送る等、買物の内綿及薬等才買忘ル。午後五時水裡坑松屋旅館ニ入ル。

[一月]卅一日

山階家及井上氏ニ書面才出ス。

本日出獵セシニ赤服[腹]、紺ヒタキ小ウグエス等才見タリ。

第貳回水裡坑附近ノ鳥 昭和八年一月卅一日  
至 同三月四日

台湾嘴太カラス 少シ

姫トヒ 四時

○オウチウ 時々渡り来ルモ此頃少シ

○目白血眼鳥 多シ

○青花トリ 弍月中頃迄以後見ズ

○血目鳥 多シ

○白頭 四時多シ

△\*赤服[腹] 二月末頃迄

台湾小ウグエス 二月中頃迄

△○\*紺ヒタキ 三月ニ入レバ見ヘズ

○丸ハシ 二月始ヤ、多ク三月ニ見ズ

○磯ヒヨ 少シ秋季多

○台湾ヒバリ 少シ

○頬白セキレ 少シ

○ツバメ 二月末頃渡来セリ

台湾スバメ 多シ

○爪長セキレ 少キモ見ラル

大冠ワシ 割合ニ多シ

○姫目白 少シ

○襟黒ヒタキ 目下少シ

○鹿ノ子鳩 秋ニ多クニ三月少シ

○黒ヒヨドリ 1/2 多シ

○冠血目鳥 希ナリ

○五色鳥 多シ

青葉扇鳥 希ナリ

(ここまで一段目)

○頭赤血目鳥 多シ

○青血目鳥 多シ

○姫オウチウ 二月中頃迄多シ

○朝鮮ウグエス 少シ

△赤コツコー?

腰眉白蟲喰 三月中五千尺ノ処ニテ五羽見ル

チヨケンボ 時々見ラル

○姫丸ハシ 多シ

△\*集々ヒタキ 希ナリ

△\*葉扇鳥 場所狭[狭]ク少シ

○ルリテウ 少シ

○高砂タルマ柄長 時々群来

△\*青羽扇ドリ

○緋衣 少シ4000尺位ノ高処

○河ヒタキ 少シ

○黄セキレ 少

○テツケイ 多シ

深山テツケー 2000尺以上ニハ多シ

○シマ赤モス 少シ

小サギ ヤ、多シ

○緋山椒喰 時々二三オ見ル

△\*姫フクロ 少シ

○△\*眉茶シナイ 三月迄ハ少ナキモ見タル

○眉羽扇鳥 多シ 四時

49

(ここまで二段目)

△\*西比利青地 一寸の間 3/II 1933

○高砂モズ 少シ

○黄眉蟲喰 二月中

△眉白? 一羽オ見タリ 50

△小柄 一羽オ見タルモ逸ス

○ピンズエ 4/[II] 二月末三月上旬迄

珠ニ[子]掛鳩 " 二羽中頃ヨリ高処ニテ見ラル

○青鳩(台湾) " 二三月中、二月始頃

○小蟲喰 " 二月始頃少シ以降見ズ

○金鳩 時々渡来スルモ多カラズ

○シマキンバラ 5/II 多シ

○腰白金服[腹] " 多シ

○山娘 " 少シ

○カヤノボリ " 時々群オ見ル

台湾大タカ 6/II 少シ  
隼 " 一回、逸ス

○鷓 " 少シ

○三二[斑]鶉 ヤ、多シ

カワラヒワ 7/II 一回

シヨジヨサギ " 希ナリ

茶服大ルリ 8/II 高処ニテ二月末頃まで

台湾熊ダカ " 二三オ見ル

△胸赤青鳩 " ♀一羽一回見タリ

(ここまで一段目)

△\*山鷄 トラップ、捕り脚オ残シ去ル

少キモ高処 ●● 8/II 70

タイワンヒクエナ 11/II 希

△\*トラツグミ " 希ナリ 十四枚

大ノコマ " 少シ

△\*西比利宙飛 一回

△\*ツミダカ 16/II 少シ

△シベリヤマミジロ? " 一回

△\*鬼山椒喰 23/II 四羽オ見タリ

△\*チャガシラ " 貳月末渡来

花鳥 " 一回

竹鳥 27/II 始[初]メテ来ル

台、キジ鳩 " 希ニ渡来

姫三二[斑]鶉 山ノ藪中三二回

腰白蟲喰 1/III 少シ

深山ウグエス? 二羽オ得 SP、87

八十六種

(ここまで二段目)

貳月一日

本日天気晴朗[朗]遠ク高山ノ雪オ望ムオ得余ハ濁水溪オ越テ鳳凰山ニ登ル。四日鹿オ一寸見タルモ逸セリ。?ノツクミ脊黒の服[腹]汚白脇ハ黄褐色オ帯ベル者ナリキ。荒木ハ眉白蟲喰オ見タル由ナルモ今日ハ皆不運ニテ逸セリ。

貳月四日

朝来ノ雨。然レトモ出獵ス。青花鳥五羽ノ群ニ会シ全数オ得タリ。本日珠子掛鳩の五十羽程ノ群ノ通過スルオ見タリ。

二月五日

本日四ツ日鹿ノ♀オ得タリ。尚青鳩ノ鳴クオ二三度聞ク。シユズ掛鳩ノ一群集々大山ヨリ下方南ニ向ケ飛ブオ見タ

リ。

二月七日

本日山鷄トラツブニ掛リ居レル者オ彪ニ捕去ラル。荒木ノ附近オ通過ス。余モ亦鳴咆哮オ聞ケリ。

二月十八[?]日

本日集々行。山階家ヨリノ為替受取ル。荒木ハ山行。

二月廿三日

本日始[初]メテ鬼サンシヨ喰及茶頭等五千尺近キ処ニ見ヘ始メタリ。花鳥モ見ヘタリ。三十番銃破損し漸ク修繕セリ。

二月廿四日

高峯ニ行ク。一向ニ珍鳥見エズ。唯茶頭ノ群オ見タリ。

三月壹日

集々大山ノ採集オ了ヘテ水裡坑オ出立ニ決ス。此ノ頃ハ渡鳥(内地)ハ多ク渡リ了リシ様ニ考ヘラル。台湾特有ノ種ハ群オナシテ時々種々ナル者渡ルオ見シモ既ニ余ハ大略採集済ノ種多キオ以テ台北洲[州]ハ水裡坑ニ比シ気温モ低ク未夕相当ニ内地ニ向フ種類オモ捕獲シ得可キオ思ヘタリ。

三月四日

小包山階家行キ六個オ出し(三日)未乾ノ者オ蔵シテ一先ツ台北ニ向フ事トセリ。水裡坑ニテ見シ鳥ハ八十七種ナリ。

台北ノ氣候

水裡坑ノ温度ト氣象ハ台北ト大二異。是良天候ニテ雨ハ無カリシモ出發前日降雨在リテ濃霧時々来ル様ニ成リ行キ是ヨリ時々降雨オ見ルナラントノ事土地ノ住民ハ語レリ。是レ返シ台北ハ是迄ハ毎日降雨オ見ザルノ日トテハ無ク気温ハ

{○×ツグミ 淡水郡守田中国一氏}

水裡坑ニ比シ十度位低ク水裡坑ヨリ来レル余ニハ寒ク感セシメタリ

淡水視察 三月五日

五日台北ノ宿舎オ出テ淡水ニ行ク。折シモ小雨降りテ燈台ヨリ先ハ実験[見]シ難ク引返ス。当地ニハ旅館トテハ無ク唯座敷オ多ク有スル。山口屋ト云フ飯店が在ルノミナリ。同店ニ至リテ昼食オナシテ宿泊オ取り極ム。尚台

北獵友会諸氏二就キ色々ト目下の獲物オ聞キタルニ未だ鴨少しく居ル様子ニテ六五日ノ獲物ノ中ニハ山シギモ在リタル由ナリ。余ハ右ノ会ノ種類オ見ル。

一、玉シギ、田シギ○ 磯シギ○ 針尾シギ 山シギ◎  
冬クエナ、台湾クエナ、白服<sup>ママ</sup>[腹]クエナ、鹿ノ子鳩、白頭 黒ヒヨドリ○、ツグミ○  
等オ見タリ

宜蘭方面ニ行く筈ナリシモ地理悪シク如何ニヤト云フ人在リシオ以テ海鳥ハ未ダ来ラズ。故ニ一先づ二週間位ノ予定ニテ淡水採集オ行ヘ見ル考ナリ。

三月七日

自動車オ雇ヘ六円ニテ淡水ニ引移ル。

{台北州淡水郡}

{淡水街龍目井一八 粟井ハツ}

台北淡水附近ノ鳥 皇 八年三月五日  
全 三年三月五日

小サギ 5/Ⅲ 多シ

雨サギ

白頭 "

田シギ "

針尾シギ "

磯シギ "

玉シギ

△\*ツグミ

△\*クエナ

台湾クエナ

白服<sup>ママ</sup>[腹]クエナ

高砂モズ

黒ヒヨドリ

山シギ

巴鴨 五日獵友会員二羽オ得タル由

小鴨

青羽扇鳥 7/Ⅲ

鴨 尾長

目大千鳥

浜シギ

オウチウ

頬白セキレ

姫トビ

(ここまで一段目)

鵲 7/Ⅲ

ホエビー 8/Ⅲ

姫丸嘴 "

目白血眼鳥 "

頭赤チメドリ "

ダルマエナガ "

シマ赤モズ "

台湾白セキレ "

黄セキレ "

ピンズエ "

タヒバリ "

ノジコ "

△ノスリ "

チヨゲンボー "

アオジ "

尾長鴨 "

眉羽葉扇鳥 "

姫メジロ "

ノゴマ 9/Ⅲ

赤服<sup>ママ</sup>[腹] "

テツケー "

襟黒ヒタキ "

台湾ヒクエナ

?

(ここまで二段目)

鵜 9/Ⅲ

日ドリ鴨 "

嘴細白千鳥 10/Ⅲ

50白千鳥 "

大膳 "

台湾ヒバリ "

白セキレ " 少シ

虎ツグミ 13/Ⅲ

西比利青地 "

金鳩 /Ⅲ

カウライウグエス 13/Ⅲ

台湾ヒバリ "

台ワン大タカ 16/Ⅲ

60ヤブサメ

ルリ鶺 15/Ⅲ

オホカンムリワシ 19/Ⅲ

{三月七日 旅行届提出ス}

参月八日 観音山 雨 気温六十度

河向ノ山麓及平坦地等オ涉獵セルモ朝来ノ風雨ニテ一向

面ハシキ鳥ニ出会セズ。必要ノ者ハ唯台湾白セキレノミナリ。淡水河ノ出口（河）ハ両方共砂地突出シテ南方ハ砂ノミニテ遠浅浪甚高く此ノ附近ノ浪波幾分緩ナル処ニハ鴨甚多キモ中々接近シ得ず。遠クヨリ望見スルノミナリ。中ニハ首ノ特ニ長キハ尾長か、日取鴨モ居ル様ナリ。

参月九日 七十二度、[午]後三時  
大屯山ニ向テ登ル。想思樹ノミ植林サレ有ル為メ鳥ノ食餌無く小鳥等甚ダ少シ。ノ農村ヨリ上部ハ樹木小サクシテ七合目ヨリ上方ハ草原ニテ急斜オナセリ。此辺ノ水田ニハ大タカ？（ノスリ？）時々見ル。

三月十日 気温六十七度  
[午]前中霧、午後風雨、淡水岬ニハ白千鳥二種大群オナシ居リタリ。余ハ二射シテ獲タルモ最早不用の者ノみナリ。浪荒キ日ニハ此ノ岬ノ上オ越ゆる鳥多カル可シ。

三月十一、十二日  
大雨風ニテ休ム。

三月十三日  
小頂坪ニ行ク。兔ノ穴オ見附ケタリ。  
虎ツクミオ見ル。大形ナリ。

三月十四日  
本日鴨及鶉等ノ水鳥オ獲シ者ト思ヘ岬（淡水）ニ至リシニ多数の湾人等青海苔取り居リテ一鳥オ見ス。浜ニハ台湾ヒバリ居リタリ。胸腹<sup>マツ</sup>の白汚色ノ者トBuff白色ノ者トオ獲タリ。其辺リ川オ越テ八里庄の後方ニ<sup>念</sup>佛山ニ登リシモ小鳥ハ毎時同シキ者ニテ新シク採集ス可キ程ノ者ナシ。

三月十六日 六十四度午後三時  
本日モ 山下ニ趣<sup>マツ</sup>[赴]ク。虎ツクミオ見シモ逸セリ。ヤブサメオ得タリ。

三月十八日  
本朝河野君ヨリ書面来ル。石丸氏へ残金当方へ送附方電報ニテ照会ス。

三月十九日  
本朝山階侯爵家ヨリ書面到着ス。水鳥余リ居ラヌナラバ阿里山ニ向フ可キ由命令シ来ル。本日青葉扇鳥ノ群ニ会フ。

三月廿一日  
石丸ヨリ返電来る。金員昨日送附セリト。然し余ハ出發を決意シ粟井へ後事  
{阿里山ホテル}  
を託シ出發ニ決セリ。

[三月]廿二日 淡水出立

[三月]廿三日  
嘉義着午後三時過ぎなるを以て入蕃許可証下附願イ廿三日提出即日下附。

[三月]廿四日  
[午]前八時七分嘉義出發ス。午後三時着。阿里山直ニ警察ニ挨拶ニ行キタリ。目下天氣晴郎<sup>マツ</sup>[朗]の季ナリ。

三月廿五日  
阿里山鐵路オ眠月方ニ、一キロ半程行キ右ノ方ニ小坂オ登レバ台中洲<sup>マツ</sup>[州]水裡坑ニ出ル急坂ノ<sup>マツ</sup>至[経]路ニ出ス。途中小鳥色々居リタルモ多種ナラズ。大形ノ者ハ一向ニ見ズ。午後濃霧トナリシ故帰ル。

三月廿六日  
本日新高山道オタータカノ直下迄行ク。

阿里山及新高山ノ実見鳥類 皇三月廿四日

ホエビ一

- \* 耳白チメドリ ×
- \* 冠血目鳥 × 5
- 血目鳥
- \* ヤブトリ × □ ○
- \* シマドリ × ○
- \* 腰白蟲喰 × 15
- \* 阿里山ヒタキ ×
- \* 高砂マシコ ×
- \* 台湾五十柄 × ○
- \* ミヤマウグエス ×
- \* 目白チメドリ ×
- \* 台湾大赤ゲラ × ○
- \* 台湾山ゲラ
- \* 黄羽達磨柄長 × ○
- \* 頭赤血眼鳥 × " ○ "
- \* 紅サンシヨ喰 × 3、○
- \* 姫岩燕 × ⊖
- \* 深山テツケ ×

\*タカサコカケス ×○  
 \*金羽ホエビー ×○  
 \*頭赤柄長 ×○ 26/4  
 \*紺ヒタキ ×○  
 \*茶服<sup>ママ</sup>[腹]大ルリ ×○  
 \*高砂ミソサバエ  
 25  
 (ここまで一段目)

\*小羽ヒタキ  
 □□血眼鳥  
 \*真木四十柄  
 \*アリサン血眼鳥 ×  
 \*鬼サンシヨ喰  
 \*ツ、ドリ  
 大\*トラツクミ 28/Ⅲ  
 \*台湾星ガラス "  
 \*菊地ヒタキ ×  
 \*内田ウソ 29/Ⅲ  
 36\*台湾日柄 " ×○  
 \*五色ドリ  
 38\*台湾小啄木 ○  
 \*台湾嘴太鳥 30/Ⅲ  
 大冠ワシ "  
 腰白金服<sup>ママ</sup>[腹] "  
 \*河ヒタキ " ○  
 \*姫フクロ "  
 \*ヒンズエ "  
 ツグミ "  
 \*ルリテウ ○  
 \*黄服<sup>ママ</sup>[腹]四十雀 ×○  
 \*胸赤ヒタキ 31/Ⅲ ⊖  
 (47)  
 (ここまで二段目)

\*眉茶ジナイ 31/Ⅲ  
 ●\*サンケイ 1/Ⅳ  
 \*深山岩雲雀 5/4  
 \*阿里山ミソサバエ "  
 \*台湾フクロウ 4/Ⅳ  
 \*小トラツクミ 2/Ⅳ ○  
 \*深山ヒタキ 6/4 ×○  
 \*浅倉山椒喰 8/Ⅳ  
 \*阿里山ウソ "  
 \*高砂色変リウソ "

\*黒額針尾雨燕 12/Ⅳ  
 \*ジユズ掛鳩 ○  
 60 ○丸嘴  
 アトリ 16/4  
 \*雨燕  
 \*台湾四十柄 ○  
 鷺耳ツク 16/4  
 \*竹鳥 × " ○  
 \*台湾青鳩 "  
 \*真ヒワ  
 \*新高菊イタバキ 28/4 一羽  
 \*茶カシラ 7/5

{山階、石丸、河野、自家}

三月廿八日  
 雨中東山オ<sup>ママ</sup>経<sup>ママ</sup>てタータカ方面ニ向フ。星カラスオ得  
 タリ。本日●先ニ案有リし石丸家ヨリノ送金四百円来ル。  
 小包も来ル。各必要ノ所ヘ書面オ出。

三月廿九日  
 本日淡水粟井ハツ氏ヨリ書面来ル。為替ハ領収所<sup>ママ</sup>[書]変  
 更願ヘオ提出ス可キ様阿里山局ヨリ請求サル。  
 アリサンウソ?  
 日柄多数ニ見ル。

三月卅日  
 為替  
 為替金請求書オ出ス。

三月卅一日  
 本日台北ヨリ<sup>ママ</sup>彈藥所持許可書、岩田ヨリ送リ来ル。トラッ  
 プオ置キ始ム。曜<sup>ママ</sup>[翌]日六頭オ得。

四月一日  
 本日山鷄オ見タリ。

四月五日  
 眠月方面ノ塔山ヨリ先ノ大瀧溪ニ行キ四十柄及深山岩ヒ  
 バリ新高ミソサバエ等オ見タリ。

四月六日  
 本日ニ至ルモ淡水ヘ送附オ受ケシ為替金四百円ノ受取局  
 変更申請許可来ラス (三月卅日提出ス)。

四月六日 午後四時室内六十五度 火氣在リ

新高登山道路ニハ一向ニ鳥見ヘズ。返て眠月や七号橋方面ニ行けば深山岩ヒバリや其他ホシガラス、高砂マシコ、真木四十柄、阿里山ミソサバエ等オ見タリ。此ノ頃、阿里山ヒタキハ最モ多く見ユ。小羽ヒタキハ希ナリ。

四月十日

本日タータカニ至ル。九千尺以上ニハ鳥全く見ヘス。札幌ヨリノ四百円受取ル。内二百円ハホテルヘ一時預リ。本日黒額針尾雨燕少シク見エ始ム。

四月十二日 六十四度 朝四十八度

本日黒額針尾雨燕多数見ヘタリ。八千尺位ノ高度（東山）。

四月十四日 六十八度

塔山ニ行キ雨燕オ射ル。二人三十発三羽オ得タルノミ。

四月十六日

東方ダイヤモンドヨリ下降タツキリ溪近クニ行キ種々の鳥オ見台湾四十柄及ワシ耳ヅク、竹鳥、其他種々ノ鳥オ見タリ。

四月十七日

本日山階家ヨリ大武山採集ノ交渉来ル。

四月十八日

本日東方ノ急斜面ダイヤモンド山ニテ台湾ツグミー羽オ一寸ノ間見タルモ遂ニ捕シ得ず。十九日モ余ハ此ノ者オ獲ント努力シタルモ遂ニ姿オ見得ズ。十九日高雄大武山採集承諾ノ書オ東京ニ出ス。

四月廿一日

東京山階家ヨリ高山鳥類ノ分類ニ就テノ返書来る。曰ク常住ノ（高山ニ）鳥ハ高山鳥類ト見ルトノコトナルモ余ハ平地ノ鳥ハ移動スルモ余リ高処ニハ来ラズ。殊ニ八千尺九千尺ノ高地ニハ余リ全部オ高山鳥類ト見ナス意見ナリ。尤モ夏季希ニ高山ニ来る種ハ別ナリ。降霜スル阿里山ニ於テハ大抵<sup>ママ</sup>〔抵〕ノ種オ高山鳥ト見ルを敵<sup>ママ</sup>〔適〕当ト考らる。

四月廿三日

山階家ヨリ書状来る。高山特有鳥類ハ十五迄採集ス可キ由申来る。

本日針尾雨燕上線近キ場処オ飛フオ見タリ。

四月廿五日

本日気温六十五度、山階家ヨリラベル三百枚小包到着ス。本日、姫モグラオ始<sup>ママ</sup>〔初〕メテ得タリ。

四月廿六日 六十四度午後二時室内

本日33、34、35、三ケノ小包オ出ス。山階家ヘ鳥 七十三種、二百六十三個  
哺乳類 十四種 四十八頭  
合計三百十壹個ナリ。

四月廿九日

本日鹿林山オ採集セリ。新高行ハ雨ノ為メ延ハス。

五月一日

新高主山ニ登ル可ク三十番銃オ負一切ノ仕度オ調ヘ先タータカニ立寄りシニ駐在所ニテ阿里山警察ニ届けきザリシ失敗〔二〕対（？）シ〔午〕前十一時同所オ出立ス。此ノ間四里ナルモ飲水無し。懸涯ノ如キ処及非常ニ俊嶮ナル処オ登リ、新高下駐在所ニ着セシハ漸ク五時頃ナリシ。途中警手迎ニ来レリ。

五月二日 {¥12,00}

〔午〕前五時山頂ニ出発。丁<sup>ママ</sup>〔頂〕上ニ達セシハ六時〇分。十五分間休息シテ下山。宿舎ニ帰り朝食採リ七時十分出立ス。阿里山ニ着セルハ三時半

新高主山、南山、前山入通関附近ノ鳥類及其高度（最高度）

阿里山ミソサバエ、 主山 一一五〇〇尺  
阿里山ウソ 一一〇〇〇尺  
新高菊戴 一一五〇〇〇尺  
雨燕 一〇、〇〇〇尺  
阿里山血目鳥 一〇五〇〇尺  
菊地ヒタキ 一一〇〇〇尺  
阿里山ヒタキ 一〇、〇〇〇尺  
高砂マシコ 一〇、〇〇〇尺  
金羽ホエビー 九、五〇〇尺  
ミカドキジ 一〇、五〇〇尺  
筒鳥 九五〇〇尺  
腰白蟲喰 九、〇〇〇尺  
頭赤柄長 九、〇〇〇尺  
深山ヒタキ 一一、〇〇〇尺  
紅サンシヨ喰 九〇〇〇尺  
シマ鳥 九〇〇〇尺  
深山ウグエス 一一、〇〇〇尺

耳白チメドリ 九,〇〇〇[R]

五月五日

本日東北方ノ断涯下ニ趣<sup>マ</sup>[赴]キシニ\*台湾ツクミ一羽オ見テ二十七間ノ処オ九号弾ニテ射シニ木ヨリ落下シ来リシモ遂ニ見失ヘリ。実ニ残ニ<sup>マ</sup>[念]ナリ。本日ハ下方ニ多カリシ鳥漸ク見ヘタリ。其ニ種ハ

一、チメドリ 唯一羽

一、カヤノボリ 二羽オ見テ一羽オ得タリ

五月九日

風野氏来訪サル。余ハ出発を二日間繰延ベタリ。風野氏ニ山階家の未採集の鳥を依頼シタル以上ハ余モ亦彼人の為多少共便宜オ与ヘサル可カラス。即チ余ハ満数ニ達シタル鳥ハ彼の為ニ荒木をして剥製をなさしめて二日間に約四十羽オ造ラシム。珍鳥なし。然シ乍ラ余ノ捕リシ一羽一五九七五号ノ♀ハ珍鳥ナリシモ荒木間違テ彼氏ノ標本ノ中ニ入テヤリシ故五月十四日手紙を彼氏ニ送リテ返却を乞ふ事ニシタリ。

五月十一日

大勢ノ知人ニ送られて出発したり。阿里山ハ此日雨ならん。朝より雲湧キ居タリ。余の三ヶ月滞在中雨ニ困リタルハ一寸の事ナリシハ天ユウと云ふ可シ。

五月十一日

午後三時迄嘉義ニ着セシモ役所ハ既ニ引時近キ故青柳の人を頼ミ入蕃許可証を返納セシム。

五月十二日

[午]前十時二十分嘉義出発。正午前ニ台南着。駅頭ニ風野氏来リ居ラレ車中ニ入り色々ト話しをサル。珍味の延魚を贈ラル。高雄ニテ一時三十分乗替出発シ十二日午後三時頃着セシモ郡役場ニハ書類出来シ居ラサリシ故不行。

五月十三日

土曜日[午]前八時ニ行キタルモ皆吏員ハ他出。九時半受附タルモ余ノ狩獵許可証ハ四月末日迄トナリ居リシ為許可不能ニテ、十四日ハ日曜故十五日ニ漸ク高雄ニ行キ再度交附を受る筈シタリ。

{高雄洲<sup>マ</sup>[州] 潮洲<sup>マ</sup>[州] 郡潮洲<sup>マ</sup>[州] 庄五四三 (●新涼館) 西岡ツネ}

五月十三日 九十五度

一番ニテ高雄ニ行キ洲<sup>マ</sup>[州] 庁ニ出頭免状ノ再交附を受ク。中々手数と費用要セリ。六月五日迄期間ニテ潮洲<sup>マ</sup>[州] 郡ニセリ。

六<sup>マ</sup>[五]月十五日

高雄洲<sup>マ</sup>庁<sup>マ</sup>[州] 庁ニ出頭狩獵免状ノ再度交附オ受けタリ。

六<sup>マ</sup>[五]月十六日

潮洲<sup>マ</sup>[州] 郡役場ニ至リ届出及入蕃の許可オ申請セリ。

六<sup>マ</sup>[五]月十七日

自動車ニ一切ノ必要品オ積ミテ大武山ノ山脚ニ向フ。カプーロシヨリ十五丁程ノ急坂ニテ下車セリ。茲ニハ先日及本日電話ニテ郡の方ヨリ蕃人才荷物取りニ来ル可ククワ<sup>マ</sup>ルン蕃ニ申聞入置キタル故多分十時頃ナラント思ハル。由郡役所ニテ話シ在リタリ。[午]前九時頃三名来ル。荷重クシテ困難セリ。途中猶一人来ル。是ハ後ヨリ電話ニテ請求セル者ナリ。漸クテクワ●ロンニ着セルハ午後三時頃ナリ。

{山脚ヨリ}

大武山ノ鳥 皇 五月十七日  
至 五月廿日

雨サギ 是ハ山脚

\*青鳩

\*キジ鳩

鹿ノ子鳩

\*姫岩燕

\*雨燕

\*姫雨燕

\*黒ヒヨドリ

\*大腰赤燕

\*ヤブドリ

\*ホエビー

丸ハシ

蟲喰

\*台湾金服<sup>マ</sup>[腹]

\*腰白金服<sup>マ</sup>[腹]

\*眉羽扇鳥

\*青羽扇鳥

\*腰白蟲喰

\*紅山椒喰

\*高砂達磨柄長

\*紺ヒタキ

姫トビ

台湾嘴太カラス

\*台湾尾長鳥  
(ここまで一段目)

台湾大タカ

\*大冠ワシ

\*耳白血目鳥

\*深山ヒタキ 2/V

竹鳥

\*冠血目鳥

シマトリ

台湾ホウゲモス

目白血目鳥

\*頭赤血眼鳥

\*ツ、ドリ

\*五色ドリ

\*台湾大赤ゲラ 五月十九日

\*羽扇鳥

\*茶服<sup>ママ</sup>[腹]大ルリ

\*黄服<sup>ママ</sup>[腹]四十雀

河鵜

胸赤ヒタキ

\*テツケ

\*深山テツケ 21/V

\*カヤノボリ

\*姫丸嘴

\*姫目白 少シ

\*台湾カケス 少

39

(ここまで二段目)

大武山鳥ノ二

\*黒襟ヒタキ 20/V

\*花鳥

\*山鶏

\*白ロガシラ 高山行

\*姫フクロ

\*内田ウソ "

\*金羽ホエビー "

\*台湾小ウグエス "

\*頬白セキレ

\*高砂モズ 23/V 49

\*姫オウチウ 25/V

\*青血目鳥 "

\*高砂マシコ 26/V

\*台湾星ガラス "

\*キクチヒタキ "

\*深山ウグエス " 55 61

\*ルリテウ 28/5

河セミ

台ワンスバメ

チメドリ 三

大武山ノ地形

潮洲<sup>ママ</sup>[州]庄ヨリ佳佐庄迄

潮洲<sup>ママ</sup>[州]庄ヨリクワルス迄廿ニキロ

アマワン クワルス 一ニキロ

五月十七日

七時四十分自動車にて出発。郡役所ニ寄り直ニ出発。大武山麓ニ着セシ八九時頃ナリ。待つ事一時間ニシテクワルスヨリノ蕃人四名来リ荷物オ担キ登ル。六名位ヲ要スル所ニ四名故非常困難セリ。余等ハ三時頃クワルスニ着セリ。

主任中嶋 氏方ニ宿泊シ食事一切の世話を受クル事トセリ。

同駐在所 (学校の方) 本池敏男氏

五月廿六日

梅林ニ至。8五〇〇尺。好天ナルモ非常ニ危嶮<sup>ママ</sup>[険]ナリ。石楠花の茎<sup>ママ</sup>[径]老尺五尺ニ至ル林在リシ。

五月廿九日

朝来ノ雨不止 七十八ミリ

卅日朝来ノ雨

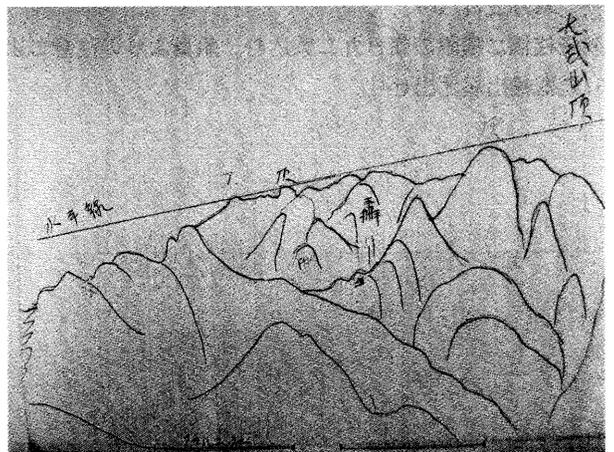


図 大武山の絵

{394 松下國雄}

大武山ノ雨

毎日午後八大低<sup>ママ</sup>[抵]降雨在るも廿九日卅日ハ特ニドシや降りニテ閉ロシタリ。実ニ河下ハ洪水<sup>ママ</sup>ニテ自動車<sup>ママ</sup>通交シ難き由ニテ卅日午後十時より漸く晴れ揚り、松下國雄氏の世話ニテ漸く佳佐庄迄歩行し潮洲<sup>ママ</sup>[州]より自動車<sup>ママ</sup>を呼寄せタリ。[午]前十時着（出発[午]前五時半新涼館ニ入れり）。

大武の鳥ハ

鳥標本数 二百三十二個 232+14=246

哺[乳類] 十四頭

六月一日 潮洲<sup>ママ</sup>[州]発

[午]前中荷造り午後三時迄二山階家へ小包三個才発送シタリ。四時二分台南へハ午後七時十七分着。直ニ風野老才問フ。

六月二日

二十九個ノ標本才譲り受けタリ。種目ハ別記ノ如し。

六月二日午後九時四十分台南出立

始<sup>ママ</sup>[初]メテ三十番の二連無クナリ居る才氣附キタリ。荒木ハ皆受取り居ラザリシ物ニテ出発の際とて如何トモスル事能ズ。届出れは無論罪<sup>ママ</sup>[罰?]金ノ物と滞在の費等で買ふより高くなる可く致し方無く其まゝとして出発セリ。此の二連ハ車夫ニやられた者ナリ。余ハ後て命ずるニ荷物を先ニセよと言へ聞かせ置て博物館ニ行き全部領収せる者と思へ居りし故敢て尋ねさりしなりき。

六月三日八時

基隆棧橋ニ横附の朝日丸ニ乗込む。船員よりの注意ニより銃器輸出届才出せり。

[六月]六日[午]前十一時半●

神戸上陸。直ニ駅ニ行き特急券才求めたるも売切れて無かり故0時二十三分発ニテ出立し七日[午]前五時五分東京<sup>ママ</sup>到着。直ニ大野や旅館ニ宿泊ス。

### 謝辞

本研究を進めるにあたり、(財)野鳥の会の大畑孝二氏、苫小牧市立博物館の揚妻(柳原)芳美氏、および苫小牧市立中央図書館の館員の皆様には文献の提供及び資料の閲覧等で多大なご協力をいただきました。記して感謝申し上げます。

### 参考文献

- 揚妻芳美 2005. 折居彪二郎資料「千島採集日誌(1928年)」の活字化. 苫小牧市博物館館報 2: 47-74.
- 齊藤郁子・嵩原建二 2003. 折居彪二郎資料「琉球及び大隈列島採集日誌(1921)」。沖縄大学地域研究所地域研究叢書 1, 160pp.
- 2004. 折居彪二郎資料「琉球採集日誌 1936年」。沖縄大学地域研究所地域研究叢書 3, 46pp.
- 説田健一・齊藤郁子 2003. 折居彪二郎から柳原要二への書簡について. 岐阜県博物館研究報告 24: 17-27.
- ・時田賢一 2001. 柳原要二鳥類コレクション標本目録. 岐阜県博物館研究報告 22: 22-68.
- 苫小牧市中央図書館 1998. 折居彪二郎採集資料目録, 苫小牧市, 241pp.
- 1999. 折居彪二郎採集資料目録続. 苫小牧市, 152pp.
- 山階芳麿 1937. 折居彪二郎氏採集台湾産鳥類標本に就いて. 鳥 9(45): 373-430.

## 付録（山階家へ送付した標本の明細表）

## 山階侯爵家送附ノ標本明細表

昭和七年六月二日恒春局出シ

NO.	種名	数	NO.	種名	数
1	黒エリヒタキ	9		第一号箱	
2	黒ガシラ	8		高砂リスノ（頭●）	6
3	黒ヒヨドリ	9		蝶全部	130位
4	台ワンヒバリ	15		雀ノ雛（巢入）	3
5	河セミ	1			
6	琉球ツバメ	1		印 台ワン小ヒバリ	5
7	鹿ノ子鳩	2		” 黒カシラ	15
8	キジ鳩	1		” 丸ハシ	3
9	台ワン尾長	4		” 黒ヒヨドリ	2
10	頬白セキレ	5		” ホエビー	4
11	目白チメドリ	3		” 小耳ヅク	1
12	丸ハシ	10		” 台ワン雀	6
13	ホエビー	10		バンケン	1
14	オウチウ	2		バン	5
18	ハウチワドリ	10		ハウチワドリ	2
16	テツケ	3			
19	シマキンバラ	3			
20	琉球ヨシゴエ	6			
21	カラセッカ	10			
22	小アジサシ	2			
22 1/2	襟黒アジサシ	1			
33	バン	1			
29	南小千鳥 落ス	5			

(六月八日、恒春局出シ小包)

NO.	種名	数	NO.	種名	数
	第四、五号、		34	三フウヅラ	5
	台湾サル	2	35		
	玉子全部65ヶ	65ヶ	36	シマ赤モズ	1
17	カル鴨	3	37	台湾カエツムリ	6
48	赤頭サギ	1	38	白服 <sup>ママ</sup> [腹]クエナ	1
46	小サギ	2	40	金鳩	1
31	台湾大タカ	1	11	小蟲喰	1
39	姫トビ	3	43	ウヅラシギ	4 5
49	台湾嘴太カラス	1	44	鶴クエナ	2
29	南小千鳥	2	喃 1	高砂リス	6
	其他恒春ノ採集品全部		雛	高砂雀	2
30	五色鳥	7	〃	黒カシラ	6
25	磯シキ	1	〃	鹿ノ子鳩	2
32	ムナグロ	2	〃	尾長	2
11	目白チメドリ	6	〃	コヒバリ	4
28	王 <sup>ママ</sup> [玉]シギ	4	〃	三フウヅラ	1
23	キセキレ	1	〃	黒襟ヒタキ	1
45	青足シギ	1	SPNO.		
36	シマ赤モズ	1	27	高砂モズ	5
38	白服 <sup>ママ</sup> [腹]クエナ	2	26	蕃鶉	10
47	アメリカウヅラシギ	2	24	台湾雀	2
	47		42	雨サギ	1

里二〔籠〕発送小包六、七、八号中

昭和七年七月三日

NO.	種 名	数	NO.	種 名	数
65	竹ドリ	6		小ヒハリ (参考名)	1
5	河セミ	3	68	ヤブゴマ	6
2	クロカシラ	2	19	シマキンバラ ×	2
66	カヤノボリ	1	59	腰白キンバラ ×	5
52	眉ハウチワドリ	9	76	台湾セッカ	1
51	燕チドリ	10	1	黒襟ヒタキ	2
69	姫オーチウ	5	18	ハウチワドリ	1
57	筒ドリ	2	50	頭赤チメドリ	5
64	丸ハシ	7	11	目白チメドリ	23
37	台湾カイツムリ	3	73	ニウナイ雀	1
22	コアジサシ	2	63	姫目白	5
58	台湾小啄木	3	62	●青チメドリ	5
3	黒ヒヨドリ	1	60	高ライウグエス	3
72	レンカク	4	53	台湾キンバラ	1
	シヤウドウ燕	1	7	鹿ノ子鳩	1
12	ヒメマルハシ	1	8	キジ鳩	1
	冠ワシ	1	38	白服 <sup>マ</sup> [腹]クエナ	2
46	小サキ	1	71	台湾ヨタカ	1
74	頭赤青鳩	3	75	木ノ葉ヅク	1
30	五色ドリ 1、	4	16	テッケー	1
9	台湾尾長	2	70	八色テウ	2
14	オーチウ	2	61	ヒゴロモ	10
	緋サンシヨ喰	3			

里二〔龍〕局出第九号

七年七月十三日

里二〔龍〕ノ分

NO. SP	種名	数	NO. SP	種名	数
81	ヒメウヅラ	3	44	鶴クエナ	1
35	ミフウヅラ	7	54	山娘	3
55	ベニサンシヨ喰	2		雛	140
5	河セミ	1		コウライウクエス	1
82	青葉ウチワドリ	2		クロヒヨドリ	1
	ハウチワドリ	3		ヒメメジロ	3
76	台湾セツカ、白頭(混)	7		台湾カイツムリ	1
24	台湾雀	2		鳥卵	6
44	鶴クエナ	1		ハンケン	4
	台湾キンバラ	3		メジロチメドリ	1
79	雨燕	1		シマキンバラ	4
40	金鳩	1		蝶	9
80	台湾キジ	1		混合各種	300
28	玉シギ	1			
29	南小千鳥	1		哺乳類	
63	姫目白	5		筋服 <sup>ママ</sup> [腹]リス	4
62	カンムサアオチメドリ	1		台湾シマネツミ	2
69	姫オーチウ	二		赤服 <sup>ママ</sup> [腹]ムサハビ	1
38	白服 <sup>ママ</sup> [腹]クエナ	1			7
78	台湾ヒクエナ	6			
76 1/2	大形セツカ	5			
71	台湾ヨタカ	2			

NO.10里二〔壠〕局八月二日発送  
紅頭嶼、火焼嶋産)

里二〔壠〕九号小包ノ続  
七月十三日出

NO.	種名	数	SPNO.	種名	数
1/2共	黒三光テウ	6	77	嘴長クエナ	6
	台湾ヒヨドリ	10		小アジサシ	1
	菊地目白	10			
	雨燕	9		哺乳類	
	琉球燕	2	6	台湾モグラ	1
	紅頭木ノ葉ヅク	2		台湾シマネヅミ	2
	紅頭クエナ	2		筋服〔腹〕リス	6
	バン	6			
	黒サキ	2		卵子	
	頭赤青鳩	2	NO.66 55	㊦—㊦ ハウチワドリ	4
	尾長鳩	8	NO.54	ハウチワドリ	4
	金鳩	2			
	バンケン	7		雛	
	セツカ	11		ミフウヅラ	3
	鼬□	1			
	熊兎	1		蝶	
	灰服〔腹〕兎	1		混合 羽	20
	82				
			里二〔壠〕預ケ、26		
			自家64、及蝶		

十一号

小包第十号中

2、□□□

里ニ〔壘〕局地方産

火焼嶋ノ分

NO.	種名	数	NO.	種名	数
49	コーライウグエス 1	2		頭赤青鳩	3
	白服 <sup>ママ</sup> [腹]クエナ	5		New 目白	10
	大木ノ葉ヅク	1		三光鳥	1
	姫オーチウ	3		雨燕	5
	木ノ葉ヅク	1		琉球燕	1
	紅鳩	3		セツカ	2
	南小千鳥	1		鹿ノ子鳩	3
	河セミ	1		台湾ヒヨドリ	6
	台湾嘴大 <sup>ママ</sup> [太]カラス	1			31
	山娘	3			
	ハシナガクエナ	1			
	台湾ヒクエナ	1			
	台湾小啄木	1			
	頭赤血目ドリ	2			
	丸ハシ	1			
	姫雨燕	1		里ニ〔壘〕産	
	雨燕	1		青葉扇ドリ	2
	テツケ	四		ハウチワドリ	2
	♂、キジ (換羽中)	1		鹿ノ子鳩	2
	カルガモ幼鳥	2 羽		m、灰服 <sup>ママ</sup> [腹]兎	1
磯シギ	1		王 <sup>ママ</sup> [玉]子 二種 巢1、ケ	6	
セツカ	3		紅頭蝶 19		

十月中

南湖大山附近ノ鳥発送ス

八月卅一日差立

小包第十四、十三号、ノニケ

里ニ〔壟〕 NO.12号

SPNO.	種名	数	SPNO.	種名	数
68	チメドリ	1		<sup>ママ</sup> 白服〔腹〕クエナ	五
30	五色鳥	2		テツケー	4
41	小蟲喰	2		コウライウグエス	1
120	<sup>ママ</sup> 黄服〔腹〕無地セツカ	3		マルハシ	1
108 1/2	白黒ヒタキ	2		燕	10
145	大ルリ	1		台湾ヒクエナ	4
126	新高菊戴	4		ヨタカ	六
134	新高嘴太チメドリ	2		台湾キンバラ	5
11	目白血目鳥	3		台東カウモリ	1
133	高砂マシコ	1		カルガモ	1
118	金羽ホエビ	5		<sup>ママ</sup> 灰服〔腹〕兎	1
119	河ヒタキ	6		鹿ノ子鳩	2
50	頭赤血眼鳥	4		燕千鳥	予備 1
140	頭赤柄	2			
139	胸赤ヒタキ	1		蝶 49頭	
136	山崎ヒタキ	1			
149	台湾小ウグエス	1			
109	シマドリ	11			
111	深山ヒタキ	7			
112	冠チメドリ	10			
115	耳白チメドリ	9			
123	高砂ウソ	7			

		数	SPNO.	種名	数
122	台湾ジユス掛	7	116	茶服 <sup>ママ</sup> [腹]大ルリ	11
129	ハイタカ	1	142	台湾ジユズ掛鳩	2
118	金羽ホエビ	10	127	台湾日柄	12
113	台湾星ガラス	5	137	台湾日柄アリサンチメドリ	7
			144	アリサンミソサ、エ	1
	哺乳類		143	台湾山ゲラ	2
			75	木ノ葉ヅク	1
15	白服 <sup>ママ</sup> [腹]尾長兎	1	16	テッケ	1
4	台湾縞兎	6	121	茶服 <sup>ママ</sup> [腹]五十柄	14
10	クマネヅミ	1	124	黄服 <sup>ママ</sup> [腹]四十柄	7
14	台湾山兎	1	36	シマ赤モズ	3
13	台湾大由地兎	3	23	黄セキレ	1
12	姫カウモリ	1	132	高砂カケス	6
	黄服 <sup>ママ</sup> [腹]リス	2	110	ヤブドリ	10
	頭骨廿七頭分		135	高砂ミソサバエ	2
	台東里ニ <sup>ママ</sup> [壘]ノ蝶		130	ミカドキジ	2
			130	高砂ミソサバエ青鳩	1
			114	台湾大赤ゲラ	2
			117	ルリ鳥	6
			125	チヨゲンボ	1
			138	台湾ツミタカ	1
			131	稚子隼	1

昭和七年十月廿日出  
第15、16、17号小包

SPNO.	種名	数	SPNO.	種名	数
151	花鳥	2		ジユズ掛鳩	3
135	高砂ミソサバエ	2	152	腰白蟲喰	1
112	冠チメドリ	1	112	カヤノボリ	1
120	?黄服 <sup>ママ</sup> [腹]無地セツカ	2	143	台湾山ゲラ	3
111	深山ヒタキ	1	117	ルリ鳥	4
134	黄羽タルマ柄長	2	128	深山ウグエス	1
49	台湾嘴太鳥	1	124	黄服 <sup>ママ</sup> [腹]四十雀	3
64	丸嘴	1	121	茶服 <sup>ママ</sup> [腹]五十柄	2
148	台湾山ガラ	3	123	高砂ウソ	7
149	台湾小ウグエス	1	141	ミカドキジ	11
62	青血眼鳥	5	65	竹鳥	5
140	頭赤柄長	8	55	紅サンシヨ喰	2
108 1/2	白黒ヒタキ	1	127	台湾日柄	3
137	阿里山血目鳥	4	119	河ヒタキ	3
142	阿里山ヒタキ	2	151115	耳朶白血鳥目鳥	1
126	新高菊戴	1	114	台湾大赤ゲラ	7
	mammals	37	31	台湾大タカ	2
19	台湾アポデマス	8	132	台湾カケス	2
13	台湾大土兎	4	130	青鳩（台湾）	3
15	白服 <sup>ママ</sup> [腹]尾長兎	4	13074	頭赤青鳩	4
14	台湾畑兎	1	150	シマゴマ	1
17	黒イタチ	3	1333	高砂マシコ	1
18	赤服 <sup>ママ</sup> [腹]大尾栗兎	2		頭骨小形ハ全部	70
		22			
	B,M,TO,	129			

XII.3. 詰小包NO.18号  
 台中水裡坑出 (集々局)

SPNO.	種名	数	SPNO.	種名	数
m. m.					
19	アボテマス	2	146	目細	3
15	<sup>ママ</sup> 白服〔腹〕ネズミ	2	54	cone14949 山娘	4
14	ハタネズミ	1		小千鳥	2
16	<sup>ママ</sup> 黄服〔腹〕リス	1	36	シマ赤モズ	1
18	<sup>ママ</sup> 赤服〔腹〕リス	2	119	河鶺	1
20	南湖貉	1	156	爪長セキレ	11 ●
21	トケ兎	1	49	台湾嘴太ガラス	1
			154	姫笹五位	1
163	姫岩燕	8	155	台湾ヒバリ	11 5
125	チヨゲンボ	1	5	河セミ	● 3
160	シロガシラ	5	157	台湾磯ヒヨ	9 7
165	小嘴ピンズエ	六	74	頭赤青鳩	3
166	脊白田雲雀	三	58	台湾小啄木	7 ●
	参考 コンヒタキ?	1	23	黄セキレ	1
159	サ、五位	1	68	チメドリ	4
161	青花鳥	2	158	朝鮮シヤウドウ燕	6 ●
164	胸赤田ヒバリ	五	124	<sup>ママ</sup> 黄服〔腹〕四十雀	1
				キン鳩	1
	蝶		6	琉球燕	1
			66	カヤノボリ	1
			46	小サキ	1
				大腰赤燕	五

## 小包第十九号、集々局出シ 1st. Dec. 1932

SPNO.	種名	数	SPNO.	種名	数
184	小鴨	1	22	灰服 <sup>ママ</sup> [腹]兎	6
183	針尾シギ	2	24	白服 <sup>ママ</sup> [腹]兎	2
179	高砂ダルマエナガ	十	25	台湾廿日兎	2
155	台湾ヒバリ	一	26	姫神楽蝙蝠	1
180	田シギ	一	23	高砂土兎	6
164	胸赤田ヒバリ	1			
49	台湾嘴太鳥	1		鳥	
172	鶺鴒	4	46	小サキ	1
177	ノジコ	五	162	深山テッケー	1
82	青葉ウチワドリ	五	131	台湾大タカ	1
181	大野ノゴマ	五	125	チヨケンボー	1
166	脊白田ヒバリ	三	163	姫岩燕	2
24	台湾スバメ	2	178	朝鮮鶯	4
174	赤服 <sup>ママ</sup> [腹]燕	2	41	小蟲喰	6
29	南小千鳥	1	158	朝鮮シヤウドウ燕	4
5	河セミ	1	173	草シキ	2
170	小千鳥	1	175	葉ウチワドリ	10
25	磯シギ	1	73	台湾入苗雀	7
165	小嘴ビンズエ	5	176	唐青地	12
36 1/2	琉球モズ	五	182	野ヒタキ	1
36	シマ赤モズ	1	4	台湾小雲雀	1
169	大腰赤燕	2	185	? 脊白タヒバリ	1

NO.22,23 (自家送り m5、B、87頭) 小包  
台南市、一月九日出

前承  
第十九号ノ内

SPNO.	種名	数	SPNO.	種名	数
125	チヨゲンボ	1	6	琉球燕	1
49	台湾嘴太カラス	2	34	姫三二[斑]鶉	二
183	針尾シギ	2	186	?河原ヒワ	2
200	大鷓	3			
	カラアオジ?	2			
182	鶉	1			
72	蓮鷓	二			
71	ヨタカ	1			
196	台湾大セツカ	9			
204	台湾白セキレ	2			
213	台湾大クエナ	3			
209	ヒバリシキ	5			
201	浜シギ	1			
	大腰赤燕	2			
36 1/2	琉球モズ	1			
188	黄眉蟲喰	三			
203	紫サキ	2			
215	(平嘴キリアイ)	1			
206	大ムクドリ	2			
181	大尺シギ	5			
208	尾白トウネン	3			
195	?田ヒバリ	1			

202	目大千鳥	4		田ヒバリ	3
170	小千鳥	3	166	田ヒバリ	1
211	キリアイ	三	84	小紅鳩	2
	花鳥	1	82	青血目鳥	2
199	三指シギ	2		大膳	1
32	胸黒	三	192	嘴細白千鳥	5
			174	赤服 <sup>ママ</sup> [腹]燕	1
24	白服 <sup>ママ</sup> [腹]単	2	214	宙ヒ	1
22	単	1	157	磯ヒヨ	五
27	大菊頭	六	25	磯シギ	2
			26	バンケン	2
			190	オバシギ	1
			210	トウネン	6
			193	五位サギ	2
			155	台湾ヒバリ	2
	第廿一号		218	白千鳥	1
27,号	ノ大菊頭		107	姫雨燕	3
	葉液漬罐入	6	194	青足シギ	1
		頭	24	台湾スバメ	五
			191	大送 <sup>ママ</sup> [反]嘴シギ	3
			73	入苗雀	2
			178	朝鮮ウグエス	7

## 台南市発送小包NO.24、25、号

昭和八年一月十六日

SPNO.	種名	数	SPNO.	種名	数
187	ママ 白服[腹]	1		仮面フクロ	5
178	朝鮮ウグエス	1		日取カモ	4
202	目大千鳥	1		小鴨	1
208	尾白トウネン	4		タイゼン	1
156	眉白爪長セキレ?	1		白アジサシ	2
197	黄眉蟲喰	2		ママ 黒服[腹]アジサシ	1
211	キリアイ	3		尾長鴨	2
107	姫雨燕	1		宙ヒ	1
72	レンカク	四		ミサゴ	1
	大バン	2		台湾雉子	3
125	チヨゲンボー	1		姫トビ	1
180	田シギ	4		三指シギ	三
173	草シギ	3		嘴細白千鳥	4
205	タカブシギ	5		ゴエサギ	1
201	浜シギ	5		小オバシギ	1
	大ニ [反]嘴シギ	四	183	針尾シギ	1
	ゞ		198	小青足シギ	1
	TO,	80	216	唐ムクドリ	4
				青足シギ	4
			207	尾黒シギ	4
			218	白千鳥	三
			204	台湾白セキレ	1

集々局発送

澎湖局出

NO.26号 9. II. 1933

一月廿八日

SPNO.	種名	数	SPNO.	種名	数
	アイグロ	5		面フクロ	1
	キヨジヨシキ	5		サンカノゴエ	1
	大目大千鳥	5		青サギ	1
	磯シギ	1		紫サギ	1
	トウネン	2		マガモ	1
	チヨゲンボ	4		嘴廣鴨	1
	嘴細白千鳥	7		高砂黒サキ	1
	白千鳥	5		小ガモ	3
	小千鳥	2		テツケー	1
	台湾白セキレ	1		紅鳩	5
	浜シギ	4		嘴細白千鳥	3
	目大千鳥	1		トウネン	3
	キリアイ	4		大ムクドリ	3
	磯ヒヨドリ	7		浜シギ	2
	ポーコヒバリ	7		磯ヒヨドリ	2
	ポーコスズメ	四		澎湖ヒバリ	3
	以上ハ澎湖産			澎湖スズメ	六
				小千鳥	3
	シベリア青地	2		台湾白セキレ	1
	台湾小ウグエス	5		磯シギ	1
	河ヒタキ	1		目大千鳥	1
	黄眉虫喰	1		大目大千鳥	4
				尾白トウネン	3
				青葉扇トリ	1

NO.26号ノ内、前承

SPNO.	種名	数	SPNO.	種名	数
176	ルリテウ	二		台湾蟲喰	1
	茶服 <sup>ママ</sup> [腹]大ルリ	2		眉茶シナイ	5
	河ヒタキ	3		赤服 <sup>ママ</sup> [腹]	1
	キヒバリ	1		コンヒタキ	7
	シベリヤアオジ?	2		青花鳥	6
	赤服 <sup>ママ</sup> [腹]	4		集々ヒタキ	2
	眉茶シナイ	2		朝鮮ウグエス	1
	カヤノボリ	1		目白チメドリ	1
	ノゴマ	2		葉扇ドリ	1
	田ヒバリ	1		嘴細白千鳥	1
176 1/2	青血眼ドリ	2		金鳩	1
	青地	2			100
	耳白チメドリ	2		3Ⅲ、1933、集々出	
	葉扇鳥	五		Parsel, Post NO.27	
	台湾小ウグエス	3		鬼サンシヨ喰	2
	青葉扇鳥	1		ヒゴロモ	1
				キン鳩	2
				トラツグミ	3
				茶頭	10
				集々ヒタキ	6
B	土兎	1		ヒメフクロ	1
	類白ムサ、ビ	1		台湾青鳩	4
	赤服 <sup>ママ</sup> [腹]ムサ、ビ	1		深山テツケー	1
	m,	3			
	B,	65			
		TO 68			

## 3、Ⅲ 1933 集々局出

SPNO.	種 名	数	SPNO.	種 名	数
	Parsel Post NO.31			Parsel Post, 29,	
	山鶏	1		山鶏	2
	シベリヤ宙飛	1		熊ダカ	1
	台湾大タカ	1		テツケー	2
	サ、五位	1		深山テツケー	3
	シヨジヨサギ	1			
	キン鳩	2		Parsel Post, NO.28	
	深山テツケー	1		山猫	1
	姫フクロー	1		四眼鹿	2
	ツミ	1		大者頭骨	7
	台湾青鳩	1			
	コンビタキ	2		Parsel Post, NO.30,	
				ツミーサイ	2
				山鶏	2
				ルリテウ	1
				筋服 <sup>ママ</sup> [腹]リス	1
				刺兎	1
				深山テツケー雛	3

阿里山局、  
26/4 33, 34, 35号

淡水街局出シ標本 自家へ14、ヶ  
NO.32号 21. Ⅲ、1933

SPNO.	種名	数	SPNO.	種名	数
	台ワンツミタカ	1		山ケイ	2
	ツヽドリ	1		台湾大タカ	1
122	台湾ジユズ掛鳩	二		竹鳥	2
252	大トラツグミ	1		チヨゲンボ	1
241	トラツグミ	1		台湾シユズ掛鳩	2
30	五色鳥	2		ツグミ	1
143	台湾山ゲラ	2	248	クエナ	1
121	茶服 <sup>ママ</sup> [腹]五十柄	3	213	クエナ	1
241,1/2	小虎ツグミ	5		キン鳩	1
124	黄服 <sup>ママ</sup> [腹]四十柄	三		腰白ムシクエ	1
130	台湾青鳩	1	235	葉扇鳥	3
49	台湾嘴太カラス	1	246	無地セツカ?	2
113	〃 ホシガラス	1		タイワンヒバリ	2
31	台湾大タカ	2		姫カウモリ	1
214	宙ヒ	1	25	台湾廿日兎	2
261	針尾雨燕(黒額)	1			B20
	胸赤ヒタキ	6			M3二
120	深山ウグエス	14			23
151	花鳥	7			
262	台湾四十柄	9			
258	紅サンシヨ喰	4			
55 (?)	台湾小ケラ	1			

33, 34, 35

SPNO.	種 名		SPNO.	種 名	数
237	眉茶シナイ	1	140	頭赤柄長	3
239	青地	2	152	腰白蟲喰	9
140	河ヒタキ	1	165	ビンズエ	1
135	高砂ミソサバエ	2	132	高砂カケス	3
134	黄羽根達磨柄長	13	110	ヤブドリ	3
255	高砂フクロ	1	251	ヤブサメ	1
116	茶服 <sup>ママ</sup> [腹]大ルリ	3	40	小サギ	1
137	阿里山チメドリ	4	247	ツグミ	2
79	雨燕	3	127	台湾日柄	3
263	真ヒワ	1	50	頭赤チメドリ	3
112	冠血眼鳥	3		紺ヒタキ	3
150	小羽根ヒタキ	6	163	姫岩燕	10
120	目白チメドリ	3	260	阿里山ウソ	5
123	内田ウソ	2	109	シマドリ	3
250	ルリヒタキ? ♀	1	111	深山ヒタキ	3
253	菊地ヒタキ	15	256	阿里山ミソサバエ	11
	阿里山ヒタキ	13	117	ルリテウ	1
133	高砂マシコ	13	244	オニサンシヨクエ	1
238	姫フクロー	1	257	深山岩ヒバリ	7
	台湾ヒハリ (淡水)	4	65	竹鳥	3
169	大腰赤ツバメ	1	114	台湾大赤ゲラ	2
	金羽ホエビー	3	162	深山テツケー	3

## 阿里山局出シ

8th V出 阿里山

33, 34, 35、

NO.36, 37

SPNO.	種名		SPNO.	種名	数
	星カラス	1	115	耳白チメドリ	3
	オニサンシヨ喰	1	82	青羽扇ドリ	5
	高砂カケス	2	177	ノジコ	5
	金羽ホエビ	2		台湾白セキレ	1
	竹ドリ	1	10	ホジロセキレ	1
	紺ヒタキ	2	249	白セキレ	1
	茶服 <sup>ママ</sup> [腹]大ルリ	2		山鶏♀	1
	台湾シユズカケ鳩	1			TO. 263
	山鶏	1		山猫	1
	五色ドリ	1	39	ヒナカウモリ	1
	台湾山ゲラ	1	24	白服 <sup>ママ</sup> [腹]兎	2
137	阿里山チメドリ	2	35	灰服 <sup>ママ</sup> [腹]姫兎 Aho	± 10
	阿里山ミソサバエ	3	36	耳白シマリス	4
	高砂ミソサバエ	1	38	茶服 <sup>ママ</sup> [腹]リス	1
109	シマドリ	± 3	5	筋服 <sup>ママ</sup> [腹]リス	1
	高砂ウソ	2	34	黄服 <sup>ママ</sup> [腹]兎	11
	雨燕	6	33	太尾毛長土兎	1
	台湾大赤ゲラ	2	25	台湾廿日兎	2
	耳白チメドリ	1	37	阿里山土兎	3
	深山岩ヒバリ	6	16	高砂リス	6
	新高菊イタバキ	5	18	赤服 <sup>ママ</sup> [腹]リス	2
	花鳥	1	17	黒イタチ	3
	次頁へ				TO 48

SPNO.	種名	数	SPNO.	種名	数
				内田ウソ	2
				頭赤柄長	2
				腰白蟲喰	1
				茶服 <sup>ママ</sup> [腹]五十柄	1
				黄服 <sup>ママ</sup> [腹]四十柄	2
				深山ヒタキ	2
				冠血目鳥	2
			18	赤服 <sup>ママ</sup> [腹]リス	2
			40	端尾黄筋服 <sup>ママ</sup> [腹]栗兎	1
				耳白台湾シマリス	2
				黒イタチ	2
				姫モグラ	2
				腰白蟲喰ノ巢卵	5